

トムス ハイパー コンプレッサーキット

クラウン 3.5 L (GRS 184) 用
13600-TGS84

IS350 (GSE21) 用
13600-TGE21

GS350 (GRS191) 用
13600-TGS90

取り付け / 取り扱い説明書

- ◆ お取り付け及びご使用前に必ず本書をよくお読みください。
- ◆ 本書は大切に保管し、本製品を譲渡する場合は必ず本書も譲渡してください
- ◆ 販売店殿 本商品お渡しの際、保証書およびユーザー登録ハガキに販売店印の押印、装着時走行距離および購入日を記入してください。押印および記入がない場合は保証対象外となりますのでよろしくお願ひします
- ◆ ユーザー登録ハガキは必ずご返送ください。ご返送ない場合は保証対象外となる場合があります

目次

【1】	事前に準備いただくもの.....	1
【2】	はじめに.....	2
【3】	適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(H18年12月現在).....	2
【4】	ご使用時の注意事項	2
【5】	エンジンECUについて.....	2
【6】	保証について.....	3
【7】	構成部品表.....	4
【8】	構成部品図.....	6
【9】	取り付け.....	9

【1】 事前に準備いただくもの

作業を開始する前に以下のものを事前に準備してください。

注文は全国のトヨタ部品共販となります。

部品

1, インテークマニホールド ツウ ヘッドガスケット(トヨタ純正) 17177-31060 × 2個

2, インジェクターガスケット(トヨタ純正) 90301-11029 × 6個

工具(必要に応じて準備する)

【2】はじめに

このたびは、トムスハイパーコンプレッサーキットをお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品の取り付けを以下に記します。本取り付け説明書は「自動車整備技能検定3級合格者」程度の方を対象に記述してあります。用語等で不明な点は、整備解説書等をご参照ください。なお、取り付け等に関するお問い合わせは、当社技術までお問い合わせください。本製品の内容及び付属品は、改良のため予告無く変更することがございますのでご了承ください。本取り付け説明書は各車両の脱着分解図を掲載してあります。更に詳しい内容については、各車両の修理書を参照して下さい。

【3】適応車種 本製品は以下の車種に対応しています。(H18年12月現在)

- | | |
|-----------------------|------------|
| トヨタクラウン 3.5L (GRS184) | (H17年10月~) |
| レクサス IS350 (GSE21) | (H17年9月~) |
| レクサス GS350 (GRS191) | (H17年8月~) |

【4】ご使用時の注意事項

以下の注意事項を守らない場合、エンジンの破損に伴う事故となりますので十分ご注意ください

- 1, 本製品を装着すると、エンジンの燃焼効率が改善され、エンジンの性能が向上いたします。ブレーキの性能を確認し、十分な制動力を確保して走行してください。
- 2, エンジンの過回転(回転計の「レッドゾーン」以上の使用)はエンジン破損につながります
- 3, 装着後、エンジンチェックランプが点灯したり、エンジンに著しい異常(振動、異音、黒煙の排出等)を感じた場合はただちに使用を中止し販売店等に連絡してください
- 4, 取り付け後、数キロ走行した後に、ボルトの緩みやベルトの干渉、ガソリン、冷却水の漏れ等をチェックしてください。
- 5, **ガソリンは必ず「無鉛ハイオク」をご使用ください。レギュラーガソリンや粗悪ガソリンを使用するとノッキングをおこしエンジンが破損する場合があります。**
- 6, エンジンオイル・オートマチックトランスミッションオイルは通常よりこまめに交換してください
推奨交換時期 エンジンオイル5000KmごとATFオイル20,000Kmごと
- 7, 本コンプレッサーを装着した場合、エンジン始動時に「キュッ」という音がする場合がございます。純正ベルトが瞬間的にスリップする音ですが、走行等に支障ありませんので、ご了承下さい。

Vベルトは亀裂、ゆるみ、部品との干渉などをこまめに点検してください。

【5】エンジンECUについて

1. 車両に装着されている純正ECUに下記の送付用紙をコピー添付して弊社に発送してください。その際、純正ECUに装着されている**取り付けブラケットを必ず外し**お客様にて管理してください。
2. 純正ECUをTECに変更の際、弊社に純正ECU到着後、1週間程度車両が動かせなくなります
3. お客様より弊社に送付される際の運賃はお客様にてご負担ください。

送付先〒158-0082 東京都世田谷区等々力6-13-10(株)トムス営業部宛

TEL03-3704-6191 / FAX03-3704-9486

TOM'S T.E.C. 送付用紙 for HYPER COMPRESSOR KIT					
該当品番(必ずご記入下さい) 13600 - T					
お客様お名前	TEL				直送先 (印必ず記入)
住所(お客様用)					
ご担当販売店名 ご担当者	TEL FAX				
住所					
共販・代理店 ご担当者	TEL FAX				
住所					

【6】保証について

本製品について製造上の不具合が発生した場合、下記の期間と条件に従ってこれを無償修理(保証修理)いたします。保証修理は部品の交換または補修により行います(製品の返品等はお受けいたしません)。また、取り外した不具合部品は(株)トムスの所有となります。

1 保証期間

➤ 保証修理の対象期間は以下の通りです

製品お買いあげ後1年間。但し期間内であっても装着後走行距離20,000Kmまで

2 保証の受け方

保証を受ける場合は、販売店に車両を持ち込み、保証書を提示の上保証修理をお申し付けください。原則として不具合部位を取り外し、(株)トムス宛ご返却いただき、調査後トムスにて現品を修理もしくは交換しご返却いたします。

3 保証をしない事項

➤ 上記保証期間内であっても、下記の場合は保証の対象外となります

- 1) 本書に添付されている保証書に販売店押印、装着時走行距離および購入日の記載のない場合、または字句を書き換えられた場合
- 2) 保証書の提示がない場合
- 3) 使用損耗あるいは経年変化による劣化など、製造上の不具合と認められない場合
- 4) 登録後4年を経過した車両または走行距離が50,000Kmを超えるエンジンに装着した場合
- 5) 輸送中の不具合
- 6) レース・ラリー等通常の使用状態と異なる使用方法による破損・不具合
- 7) 指定のガソリン(無鉛ハイオク)以外のガソリンおよび粗悪ガソリン等の使用による不具合
- 8) エンジンオイル・ATFオイルのメンテナンス不良に起因する不具合
(推奨メンテナンス; エンジンオイル5,000Kmごと、ATFオイル20,000Kmごと交換)
- 9) 地震、台風、水害等の天災並びに事故、火災によるもの。また薬品、融雪剤、塩害、飛石等の外部要因によるもの
- 10) 消耗品(Vベルト、ゴムホース類、ガスケット等)の破損・不具合
- 11) 本書に指示のある調整以外の調整をおこなった場合(例、規定以上にブーストを上げた場合など)、また、純正およびトムス指定以外の吸排気系部品や電子部品の装着によるもの
- 12) 取り付け作業時や分解時のまちがひ、不備
- 13) 機能上影響ない「感覚的現象」および本製品特有の現象
- 14) コンプレッサーの過給音等(過給時キーン音、クラッチ断続時のカチャ音など)
- 15) 機能上差し支えないオイルにじみ
- 16) 本製品が主原因でない振動・ハーシュネス

4 保証対象外費用

➤ 以下に示すものの費用は負担いたしません

- 1) 自動車を使用できなかったことによる不便さおよび損失等(電話代、レンタカー代、宿泊費、休業補償、営業損失等)
- 2) 脱着工賃

【 7 】 構成部品表

➤ 本品は以下のパーツで構成されています。欠品等を確認して下さい

イラスト No.	項目	品名 1	品番 1	品番 2	品番 3	個数	備考
11223	サージタンク	ハーネスブラケット	11223	T2GR0		1	
13501	ベルト周り	ブラケット、アイドルプーリー	13501	T3GR1		1	
13504	ベルト周り	ドライブプーリー-160 ベアリングシャフト付	13504	T3GR2		1	
13505	ベルト周り	シャフトベース、アイドルプーリー	13505	T3GR0		1	
13506	ベルト周り	シャフト、アイドルプーリー	13506	T3GR0		1	
13507	ベルト周り	アイドルプーリー	13507	T3GR0		1	
13610	SC 本体	コンプレッサー	13610	T3GR0		1	
13615	SC 本体	アッパーステー、コンプレッサー	13615	T3GR0		1	
13617	SC 本体	ロアブラケット、コンプレッサー	13617	T3GR0		1	
13619	SC 本体	Sナット、ロアブラケットSC	13619	T3GR0		1	
16267	ホース類	ウォーターバイパスホースNo.3	16267	T2GR0		1	
16290	ウォーターポンプ	ウォーターポンプ	16290	T3UZ0		1	
16361	ベルト周り	Vベルト、コンプレッサー1020mm	16361	T3GR1		1	
16401	インタークーラー	ラジエターキャップ	16401	TSP03		1	
16571	ホース類	ラジエターロアホース	16571	T3GR0		1	
17110	SC前方 吸気系	インレットパイプ No.1	17110	T2GR0		1	
17115	SC前方 吸気系	ステー、インレットパイプNo.1	17115	T2GR0		1	
17116	SC前方 吸気系	カラー	17116	T2GR0		1	
17121	SC前方 吸気系	インレットパイプ No.2	17121	T3GR0		1	
17124	SC前方 吸気系	ホースバンド、インレットパイプ	17124	T3GR0		2	
17125	SC前方 吸気系	ジョイントホース、インレットパイプ 80	17125	T3GR0		1	
17128	SC前方 吸気系	ウォーターバイパスホース、No.1 8*400mm	17128	T3GR0		1	
17131	SC前方 吸気系	インレットポート	17131	T3GR0		1	
17135	SC前方 吸気系	Oリング、ポート	17135	T3GR0		2	
17151	SC後方 過給系	アウトレットポート	17151	T3GR0		1	
17154	SC後方 過給系	ホースバンド、アウトレットパイプ	17154	T3GR0		2	
17155	SC後方 過給系	ジョイントホース、アウトレットパイプ 70	17155	T3GR0		1	
17156	SC前方 吸気系	Oリング インレットパイプNo.1	17156	T3GR0		1	
17160	SC後方 過給系	アウトレットパイプ	17160	T3GR0		1	
17164	SC後方 過給系	Oリング、アウトレットパイプ	17164	T3GR0		2	
17165	SC後方 過給系	ステー、アウトレットパイプ	17165	T3GR0		1	
17176	サージタンク	ガスケット	17176	31020		1	
17181	サージタンク	インテークマニホールド	17181	T2GR0		1	
17190	サージタンク	サージタンク ASSY	17190	T3GR0		1	
17195	サージタンク	サージタンクカバー	17195	T3GR0		1	
17196	サージタンク	Oリング、サージタンクカバー	17196	T3GR0		1	
17198	サージタンク	ステー、サージタンクNo.1	17198	T3GR0		1	
17222	サージタンク	ステー、サージタンクNo.3	17222	T2GR0		1	
17225	サージタンク	ヒーターパイプステー	17225	T2GR0		1	IS350: T2GR1
17850	SC前方 吸気系	インテークエアクリナーNo.1	17850	TGE21		1	IS350のみ
17860	SC前方 吸気系	インテークエアクリナーNo.2	17860	TGS84		1	IS350を除く
17940	インタークーラー	インタークーラー	17940	T3GR0		1	
17945	インタークーラー	ニップル、サージタンクNo.2	17945	T3GR0		1	
17946	インタークーラー	ニップル、サージタンクNo.1	17946	T3GR0		1	
17948	インタークーラー	Oリング	17948	T3GR0		2	
17949	インタークーラー	Oリング	17949	T3GR0		3	
17950	インタークーラー	ウォーターヘッダータンク	17950	T3GR0		1	
17955	インタークーラー	リザーブタンクホース 8*600mm	17955	T3GR1		1	
17956	インタークーラー	3ウェイ	17956	T3GR0		1	
17960	ラジエター	インタークーラー用ラジエター	17960	T3GR0		1	
17971	ウォーターポンプ	ウォーターポンプステーNo.1	17971	T3GR2		1	
17973	ウォーターポンプ	ウォーターポンプステーNo.2	17973	T3GR0		1	GS350: T3GR2
17975	ウォーターポンプ	ウォーターポンプクランプバンド	17975	T3GR0		1	
17976	ラジエター	アッパーブラケット、ラジエター	17976	T3GR0		1	IS350: T2GR0 GS350: T2GR1
17977	ラジエター	ロアブラケット、ラジエター	17977	T3GR0		1	IS350: T2GR1
17978	ラジエター	ロアステーNo.2、ラジエター	17978	T3GR0		2	IS350&GS350 : T3GR1
17982	ウォーターポンプ	インタークーラーホース No.1 1500mm	17982	T3GR0		2	

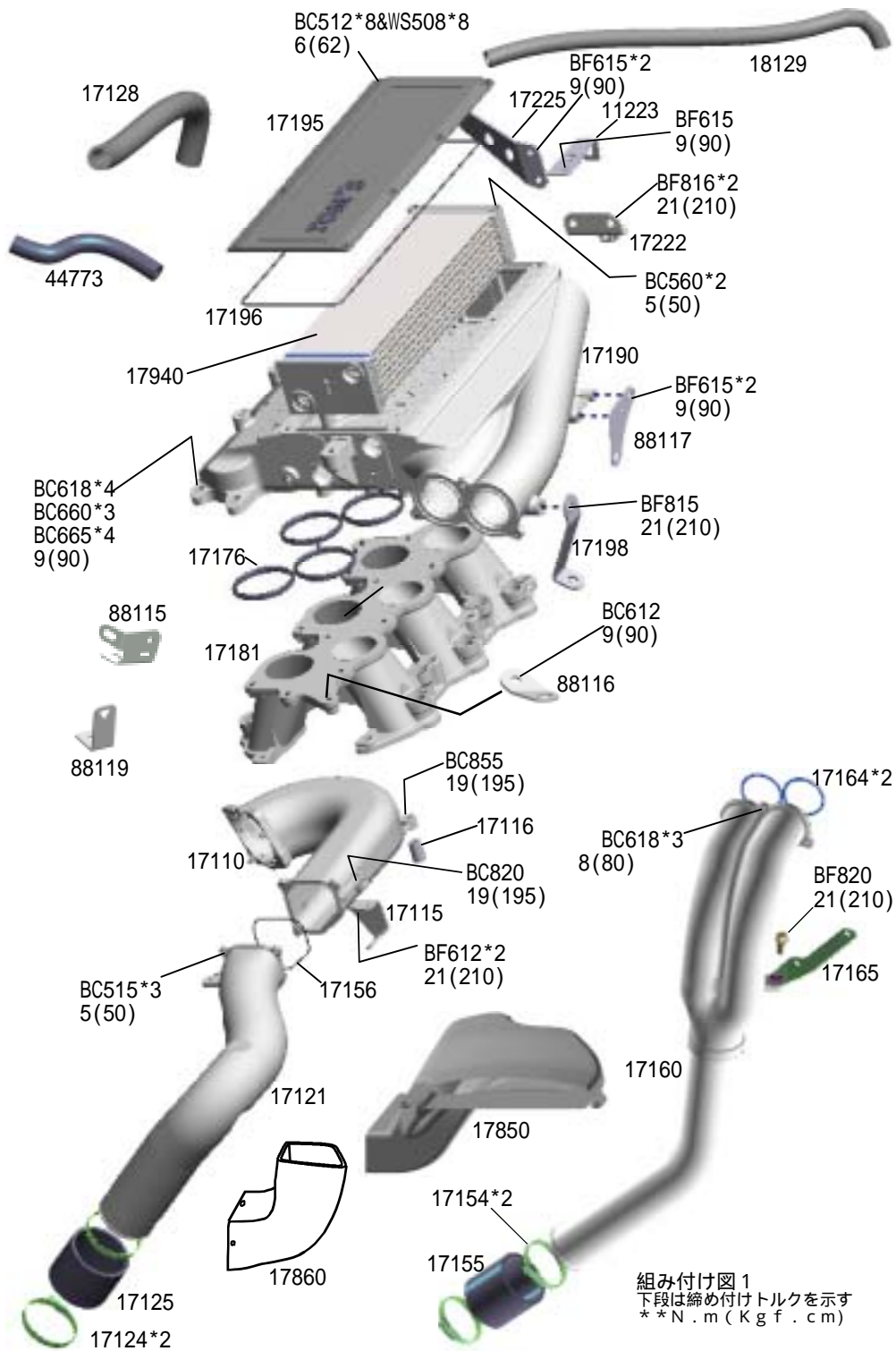
イラスト No.	項目	品名 1	品番 1	品番 2	品番 3	個数	備考
17986	ウォーターポンプ	ポンプ to ラジエターホース	17986	T3GR0		1	
18129	SC前方 吸気系	ホース、ブローパイ 9*35mm,440mm	18129	T3GR1		1	
44773	ホース類	ブレーキブースターホース	44773	T2GR0		1	
82110	エンジン電装品	コルゲートチューブ	82110	T2GR0		1	
82216	ウォーターポンプ	ウォーターポンプハーネス	82216	T3GR0		1	
82217	エンジン電装品	マグネットクラッチハーネス	82217	T2GR0		1	
82300	エンジン電装品	マグネットクラッチリレー	82300	T2GR0		1	
88112	エンジン電装品	ハーネスブラケットNo.1 オイルセンサー	88112	T3GR0		1	
88113	エンジン電装品	ハーネスブラケットNo.2 オイルセンサー	88113	T3GR0		1	
88115	エンジン電装品	ステー、バキュームスイッチ	88115	T3GR1		1	
88116	エンジン電装品	ハーネスブラケット	88116	T2GR0		1	
88117	エンジン電装品	ブラケット ワイヤリング サージ タンク	88117	T2GR0		1	
88119	エンジン電装品	ハーネスブラケット	88119	T2GR0		1	
88210	エンジン電装品	リレーボックスステーNo.1	88210	T2GR0		1	GS350のみ
88211	エンジン電装品	リレーボックスステーNo.2	88211	T2GR0		1	GS350のみ
89600	エンジン電装品	エンジン ECU(TEC)	89810	T****	SC	1	車両ごと品番
9011A	ホース類	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#12*350	90112	T0350		1	
9011B	ホース類	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#12*560	90112	T0560		1	
9011C	ホース類	ホースプロテクター(メッシュタイプ)#19*1900	90119	T1900		2	
90464	ウォーターポンプ	クランプ、ウォーターホース	90464	00410		2	
90467	インタークーラー	リザーブタンクホース用バンド	90467	11085		4	
90467	ウォーターポンプ	バンド、ウォーターホース	90467	24002		6	
BC512	サージタンク	キャップボルト M5x0.8x12	91176	05012		8	
BC515	SC前方 吸気系	キャップボルト M5x0.8x15	91176	05015		3	
BC560	インタークーラー	キャップボルト M5x0.8x60	91176	05060		2	
BC612	エンジン電装品	キャップボルト M6x1.0x12	91176	06012		1	
BC618	サージタンク・SC後方 過給系	キャップボルト M6x1.0x18	91176	06018		7	
BC620	SC後方 過給系	キャップボルト M6x1.0x20	91176	06020		3	
BC660	サージタンク	キャップボルト M6x1.0x60	91176	06060		3	
BC665	サージタンク	キャップボルト M6x1.0x65	91176	06065		4	
BC820	SC前方 吸気系	キャップボルト M8x1.25x20	91176	08020		1	
BC830	ベルト周り	キャップボルト M8x1.25x30	91176	08030		1	
BC835	SC 本体	キャップボルト M8x1.25x35	91176	08035		2	
BC855	SC前方 吸気系	キャップボルト M8x1.25x55	91176	08055		1	
BC035	ベルト周り	キャップボルト M10x1.25x35	91176	10035		1	
BC055	ベルト周り	キャップボルト M10x1.25x55	91176	10055		1	
BF610	ラジエター・SC前方 吸気系	フランジボルト M6x1.0x10	91189	06010		2	GS350のみ
BF612	ラジエター・SC前方 吸気系	フランジボルト M6x1.0x12	91189	06012		7	
BF615	サージタンク・ラジエター	フランジボルト M6x1.0x15	91189	06015		6	
BF618	SC前方 吸気系	フランジボルト M6x1.0x18	91189	06018		6	
BF620	ウォーターポンプ・SC後方 過給系	フランジボルト M6x1.0x20	91189	06020		4	
BF815	サージタンク	フランジボルト M8x1.25x15	91189	08015		1	
BF816	サージタンク	フランジボルト M8x1.25x16	91189	08016		2	
BF820	SC 本体・SC後方	フランジボルト M8x1.25x20	91189	08020		7	
BF040	SC 本体	フランジボルト M10x1.25x40	91189	10040		2	
BF0F0	SC 本体	フランジボルト M10x1.25x160	91189	10160		1	
NF601	ウォーターポンプ	フランジナット M6x1.0	91190	06020		2	
NL601	ラジエター	フランジロックナット M6x1.0	91199	06020		1	GS350は2個
NL801	インタークーラー	ロックナット M8x1.25	91199	08020		1	
NL102	SC 本体	ロックナット M10x1.25	91199	10020		1	
WP816	ベルト周り	平ワッシャー 8	91256	08016		4	
WP816	インタークーラー	平ワッシャー-M8	91256	08016		1	
WP020	SC 本体	ワッシャー-M10	91256	10020		2	
WPB25	SC 本体	ワッシャー-M12	91256	12025		1	
WSB58	サージタンク	サラバネワッシャー-M5	91252	35080		8	
Z0001	その他	燃料コーションラベル	Z0010	SP001		1	
Z0002	その他	取り付け説明書	Z0001	SP001		2	

【 8 】 構成部品図

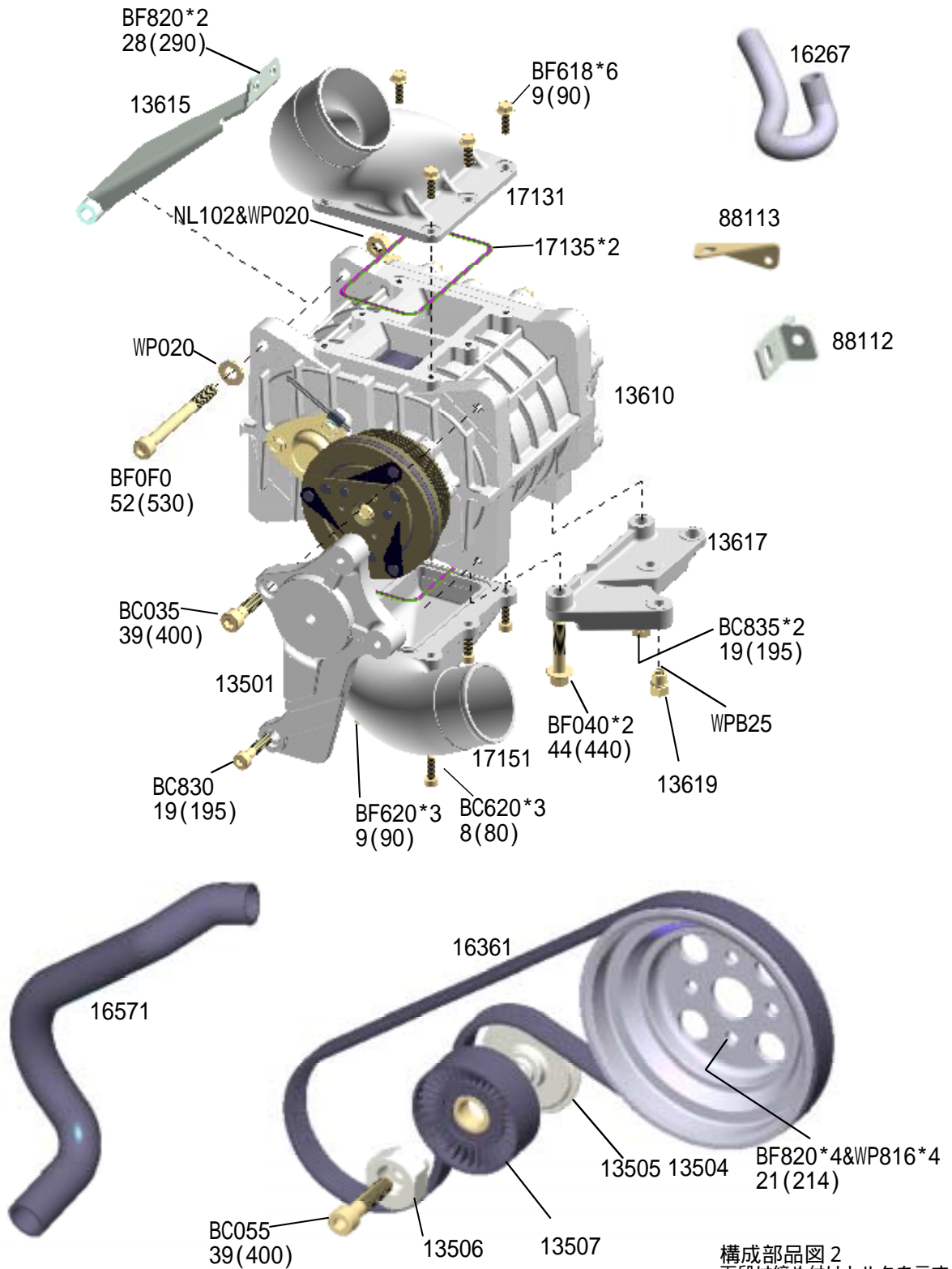
[1] 構成部品図 1

ボルト・ナットについては以下のように付番し、下段の数字は締め付けトルク値を示します。

1 桁目	2 桁目	3 桁目	4 桁目	5 桁目
B : ボルト	F : フランジ	ネジ径、ワッシャー内径を示す	長さまたは外径 2, 3 桁目	長さまたは内径
N : ナット	C : キャップ	1 - 9 : mm	1 - 9 : mm	1 桁目
	S : スタッド	0 : 1.0 mm	0 : 1.0 mm	0 : 0 mm
W : ワッシャー	P : プレーン(平)	A : 1.1 mm	A : 1.1 mm	1 - 9 : mm
	R : スプリング	B : 1.2 mm以降アルファベットと対応	B : 1.2 mm以降アルファベットと対応	
	L : ロックナット			

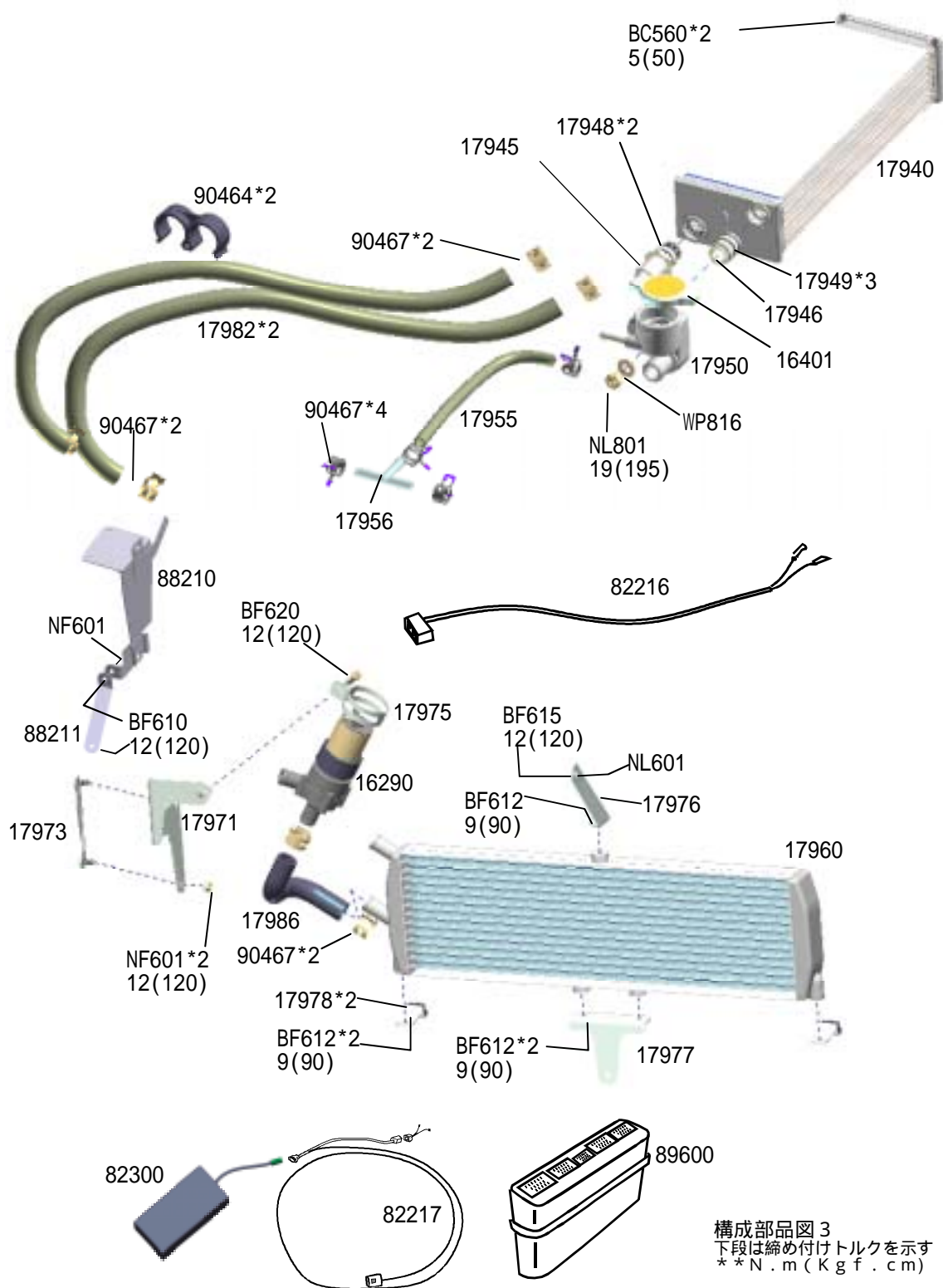


[2] 構成部品図 2



構成部品図 2
下段は締め付けトルクを示す
** N.m (Kg f . cm)

[3] 構成部品図 3

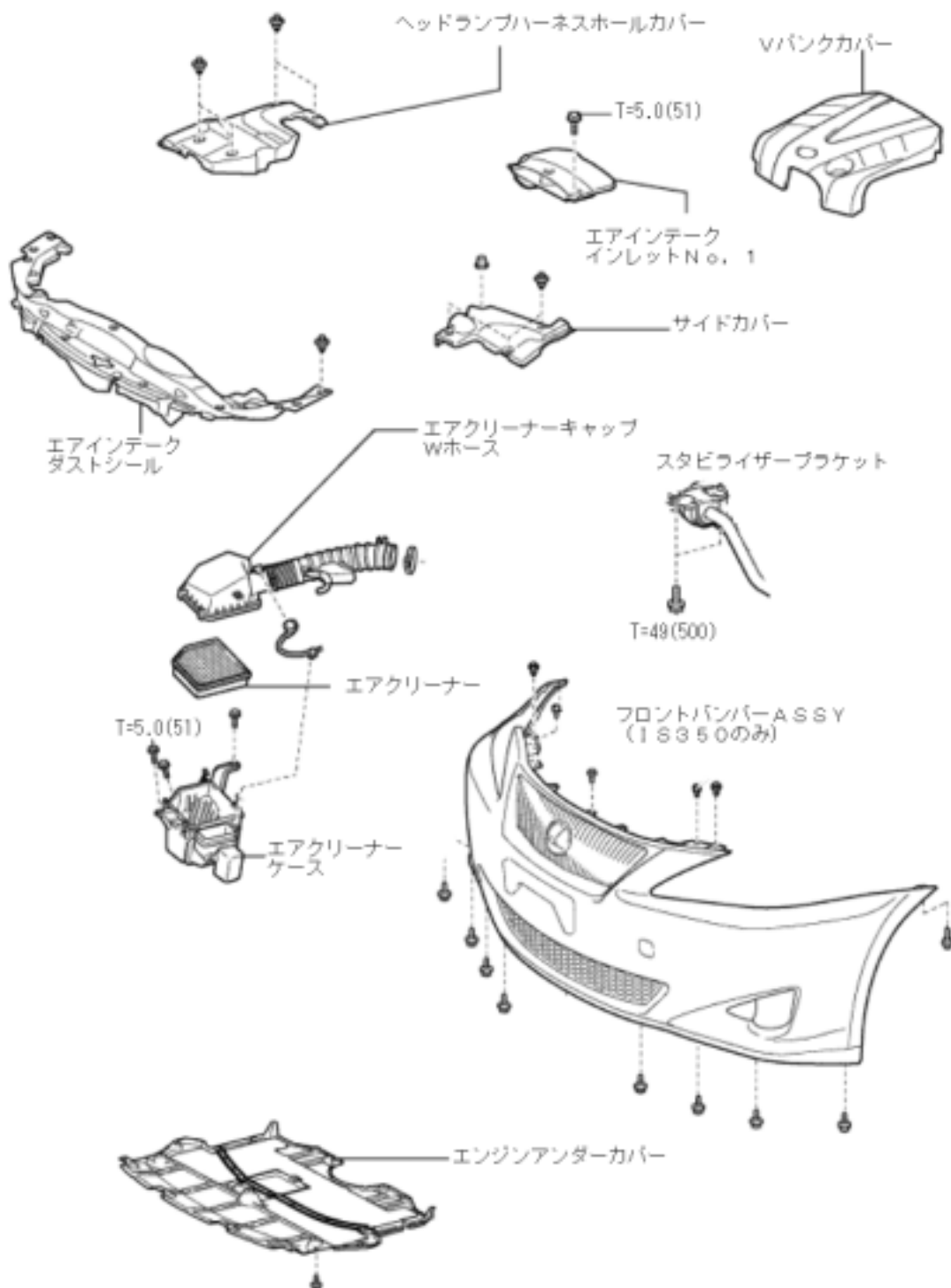


【 9 】 取り付け

[1] 純正部品はずし

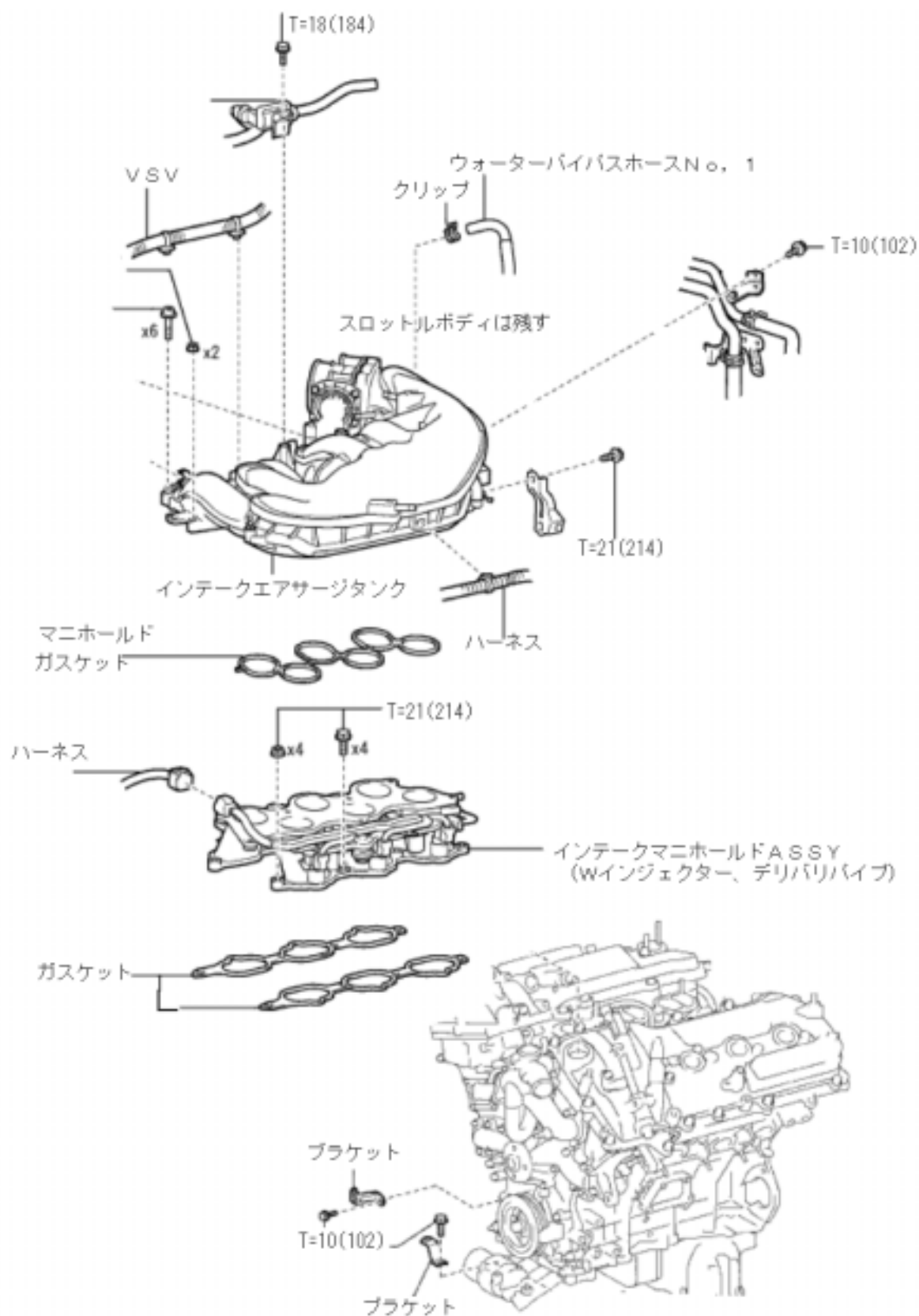
【脱着部品図 1】

I S 3 5 0 はフロントバンパーASSY をはずす



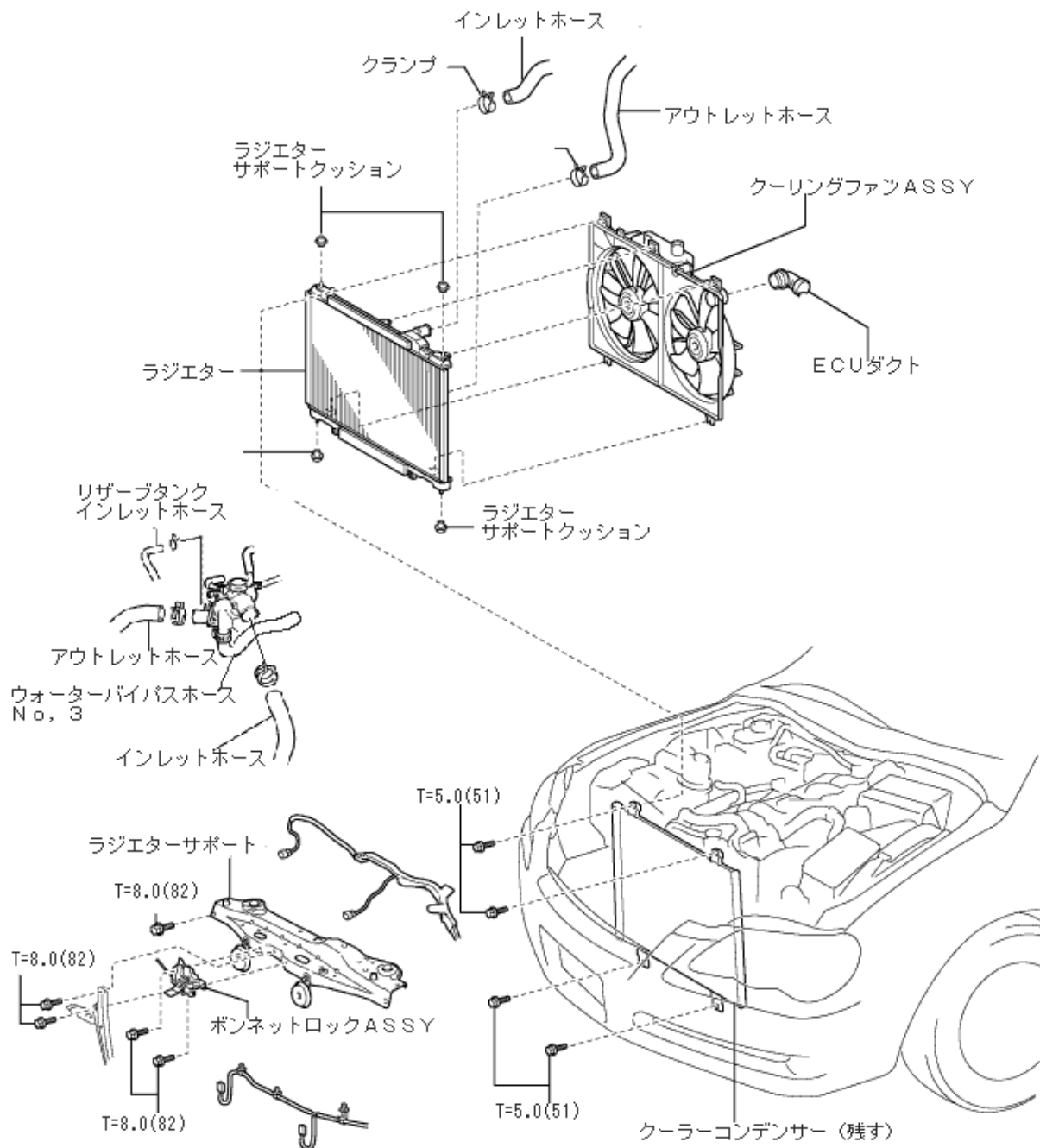
T = 締付けトルク N.n (kgf . cm)

【脱着部品図 2】

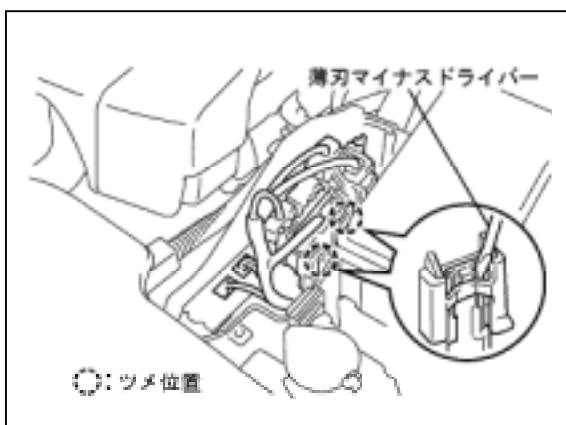


T = 締付けトルク N.m (Kgf.cm)

【脱着部品図3】



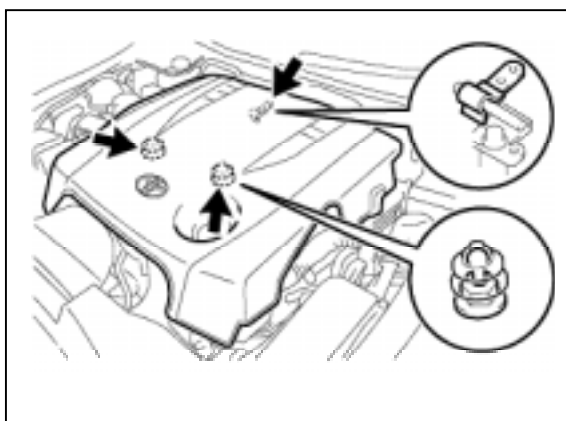
T=締付けトルクN.m(Kgf.cm)



1 エンジン ECU はずし

- 1) ボルト3本をはずし、エンジン ECU ボックスカバーをはずす
- 2) 薄刃マイナスドライバーを使用して、ツメのかん合2箇所をはずし、コネクタホルダーNo.4を切り離す(左図参照)
- 3) コネクタ6個をエンジンコントロールコンピュータから切り離す
- 4) ナット2個をはずし、コネクタをはずしてエンジン ECU をはずす

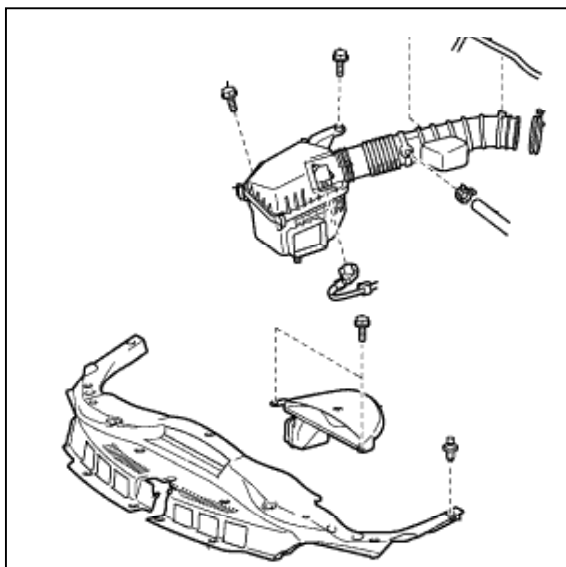
はずした ECU をトムス宛て送り、TEC に変更する(返却までに1週間ほど必要です)詳しくは「6」 「エンジン ECU について」を参照のこと



2 Vバンクカバーはずし

- 1) V-バンクカバーの後端を持ち上げ、車両後方側のクリップをはずす
- 2) 車両前方側のクリップ2箇所をはずし、V-バンクカバーを取りはずす(再使用しない)
前後同時に引き上げると破損する恐れがある
- 3) バンクカバーブラケットをはずす(再使用しない)

3 エンジンルームサイドカバー、ヘッドランプハーネスホールカバーはずし



4 エアクリーナーボックス・インテークパイプ・クールエアインテークダクト・エアクリーナーインレットNO.1はずし

- 1) エアフロメータのコネクタおよびベンチレーションホースNo.2を切り離す
- 2) ボルトおよびクランプをはずし、エアクリーナーASSY W/ホースを取りはずす

5 冷却水抜き取り

6 ラジエーターインレットホース・アウトレットホースはずし

7 ブレーキブースターホースはずし

8 ブローパイホースR/Lはずし

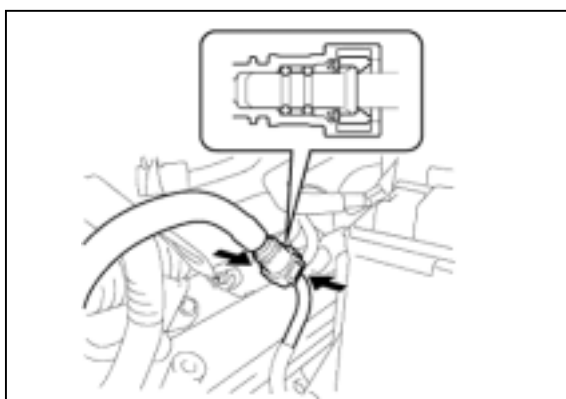
9 キャニスターホース切り離し(エンジン側をきりはなす)

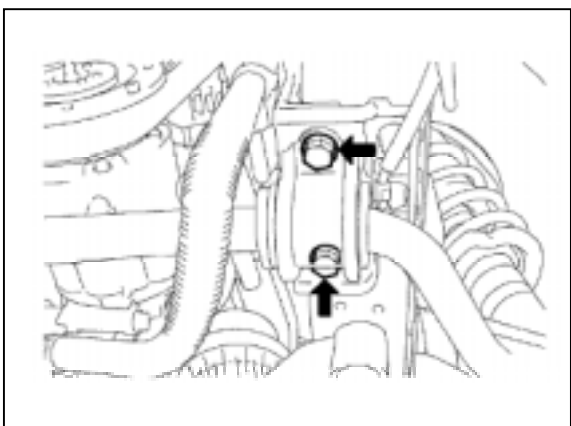
10 フューエルチューブ切り離し

- 1) E F I フューエルパイプクランプNo.1をはずす
- 2) リテーナを両サイドから手でつまみ、フューエルチューブコネクタをパイプから引き抜く

固着してフューエルチューブが切り離せない場合は工具を使用せず、クイックコネクタ部をつまんだ状態で押し引きして接続を切り離す

切り離す際はウエス等で接続部を覆い、燃料の飛散を防ぐ

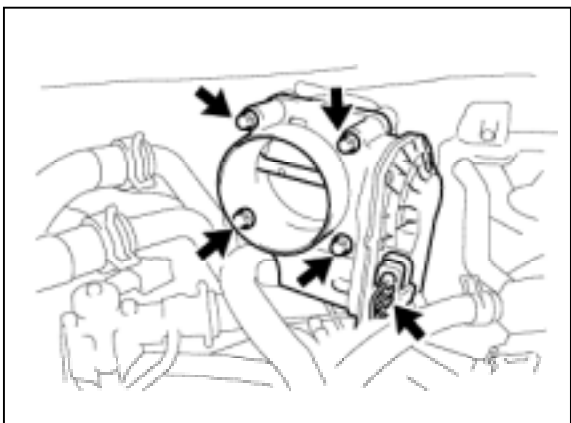




1 1 エンジンアンダーカバーおよびアンダーカバーリヤ R / L はずし

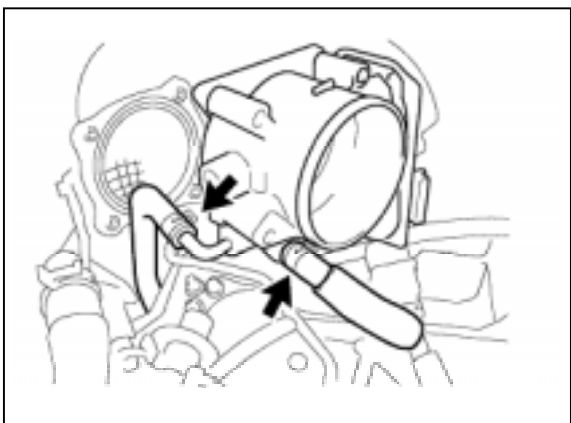
1 2 フロントスタビライザーブラケットはずし

- 1) ボルト 4 本をはずし、フロントスタビライザーブラケット No.2 R / L をフロントサスペンションクロスメンバーから取りはずす(スタビライザーを下げる)



1 3 スロットルボディはずし

- 1) コネクターをスロットルボディ ASSY から切り離す
- 2) ボルト 4 本をはずし、スロットルボディ ASSY をインテークエアサージタンクから切り離す



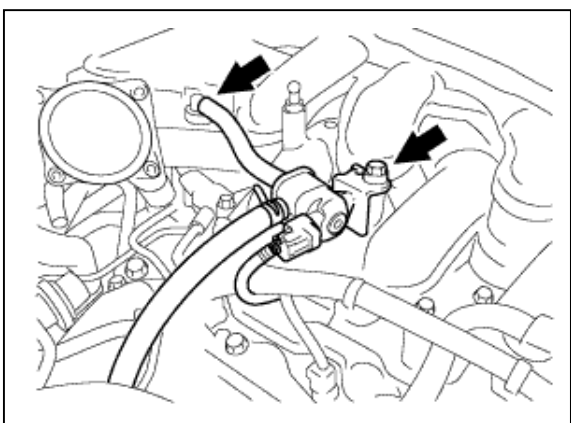
- 3) クランプ 2 個をはずし、ウォーターバイパスホース No.1 およびウォーターバイパスホース No.2 をスロットルボディ ASSY から切り離す。

- 4) No.1 ホース(後ろ側)はホース自体をはずし、17128 ウォーターバイパスホース NO.1 と交換する

バンドは再使用する

サージタンク装着後は作業が困難のため

- 5) スロットルボディガasketをインテークエアサージタンクから取りはずす

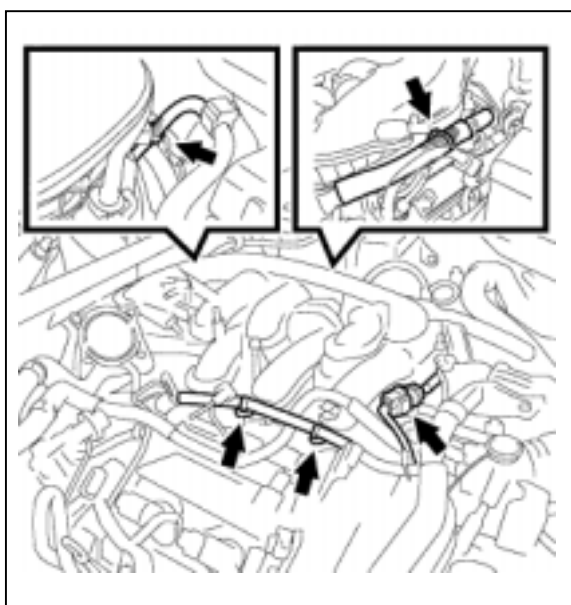


1 4 インテークエアサージタンクはずし

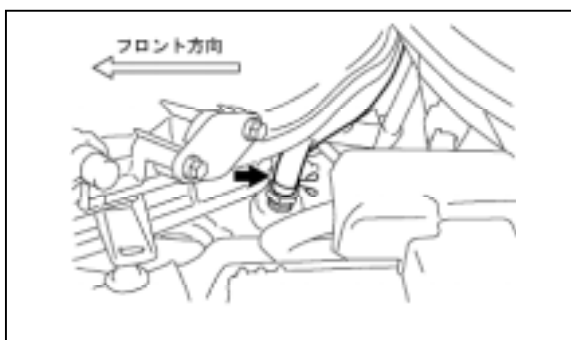
- 1) パキュームホースをインテークエアサージタンクから切り離す

- 2) ボルトをはずし、パキュームスイッチングバルブ ASSY No.1 をインテークエアサージタンクから切り離す

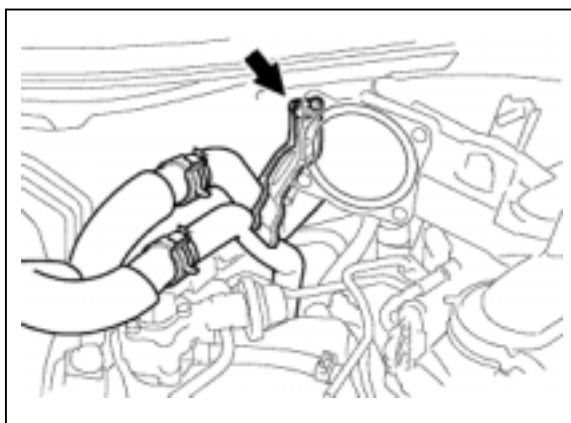
- 3) スクリューをはずしステーからバルブを切り離す(ステーは使用しない)



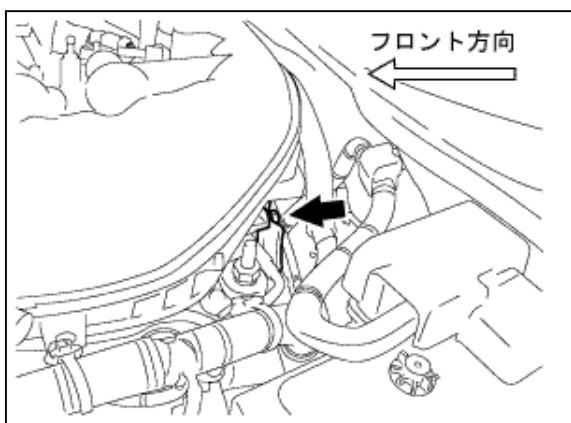
- 4) ウォーターバイパスホースのクランプをはずし、ホースを切り離す
- 5) ワイヤハーネスおよびホースをインテークエアサージタンクから切り離す



- 6) クリップをはずし、ベンチレーションホースをインテークエアサージタンクから切り離す
ホースは再使用しない



- 7) ボルトをはずし、ウォーターバイパスパイプ No.3 を切り離す



- 8) ボルトをはずし、サージタンクステーをインテークエアサージタンクから切り離す
- 9) サージタンクステーのヘッド側ボルトをゆるめておく(サージタンク取り付けの際、干渉を避けるため)



- 10) ナット 2 個をインテークエアサージタンクから取りはずす
- 11) ソケットヘキサゴンレンチ(5mm)を使用してボルト 6 本をはずし、インテークエアサージタンクおよびガスケットを取りはずす

1 5 インテークマニホールドはずし

- 1) フューエルチューブを切り離す

作業前にフューエルチューブコネクタ部に付着した泥などの異物を取り除く

フューエルチューブコネクタは、Oリングによりフューエルチューブコネクタとパイプをシールしているため、接続部の傷つきおよび異物の付着に対して十分注意して作業を行う

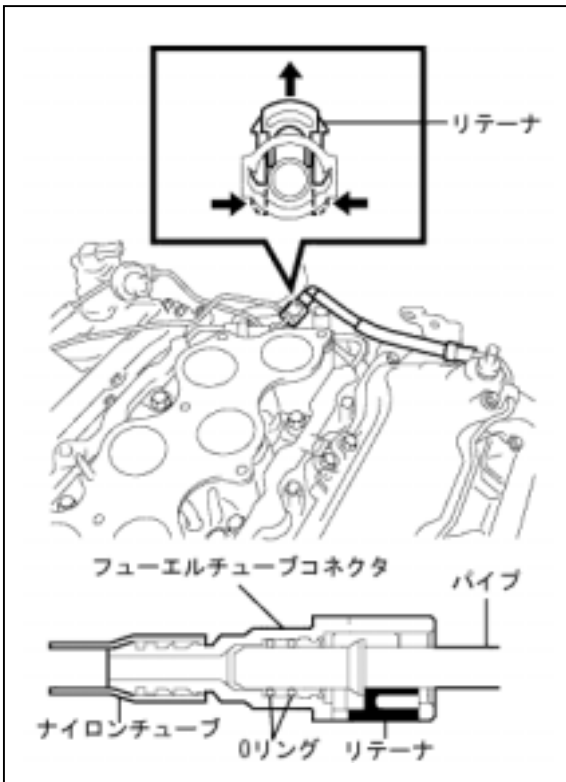
脱着作業は必ず手で行い、工具などを使用しない

ナイロンチューブを無理に曲げたり、折ったり回転させたりしない

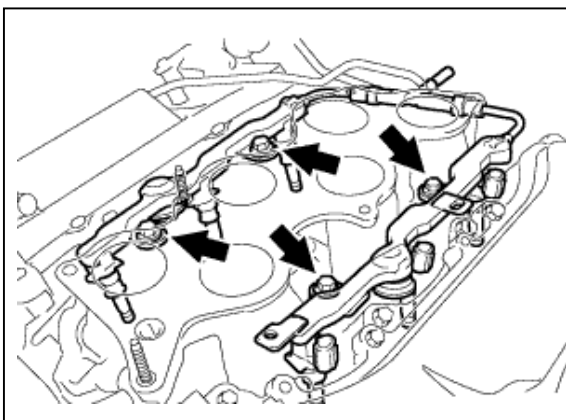
フューエルチューブコネクタとパイプが固着している場合は、押ししたり引いたりして固着を解除してから引き抜く

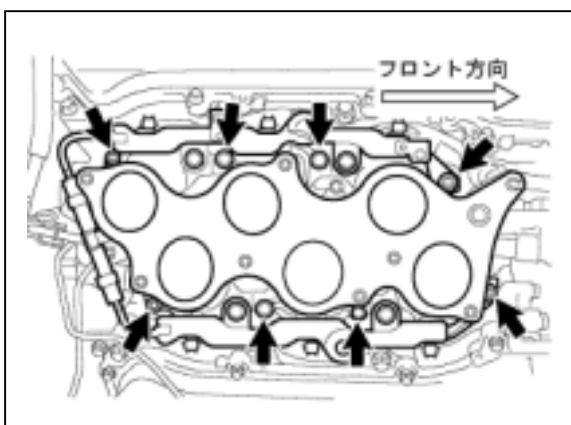
フューエルポンプチューブ切り離し後、接続部をビニール袋などで保護する

- 2) インジェクターのコネクター6 個およびクランプ 2 箇所を切り離す

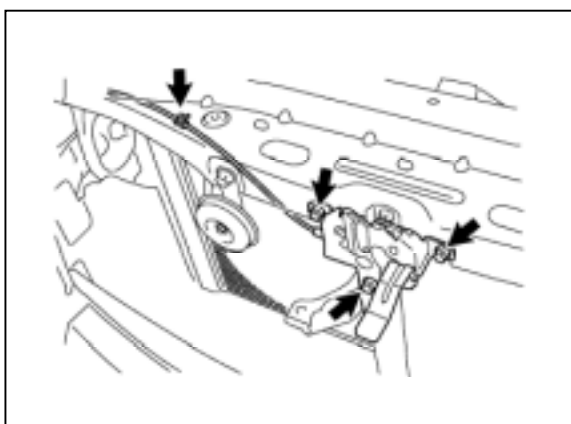


- 3) ボルト 4 本をはずし、フューエルデリバリパイプを真上へ引き上げて取りはずす。
- 4) デリバリパイプスペーサ 4 個をインテークマニホールドから取りはずす。

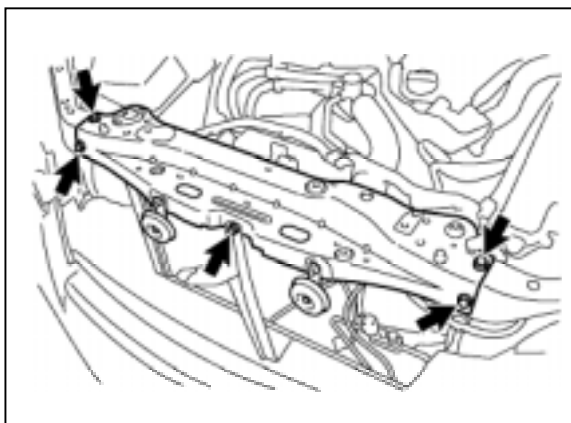




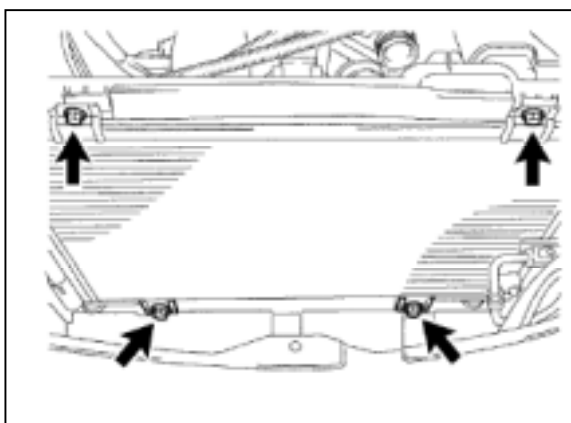
- 5) ボルト 4 本およびナット 4 個をはずし、インターマニホールドおよびガスケット 2 枚を取りはずす



- 1 6 ラジエター / クーリングファンはずし
- 1) クリップをラジエータサポート UPR から切り離す
 - 2) ボルト 3 本をはずし、ボンネット(フード)ロック ASSY をラジエータサポート UPR から切り離す
ボンネット(フード)ロックコントロールケーブルは途中で急激に曲げない



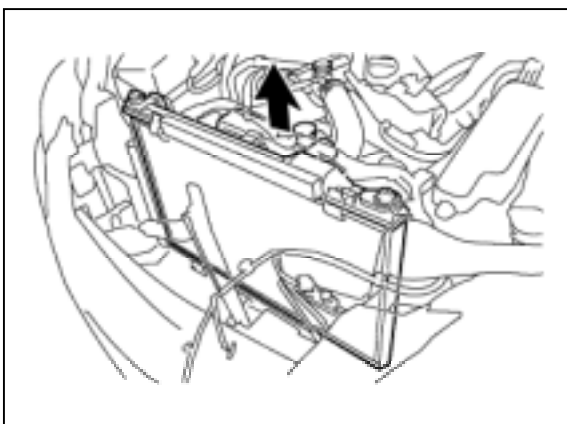
- 3) ワイヤハーネスクランプおよびコネクタを切り離す
- 4) ボルト 5 本をはずし、ラジエータサポート UPR を取りはずす



- 5) ボルト 4 本をはずし、クーラーコンデンサー ASSY をラジエター ASSY から切り離す

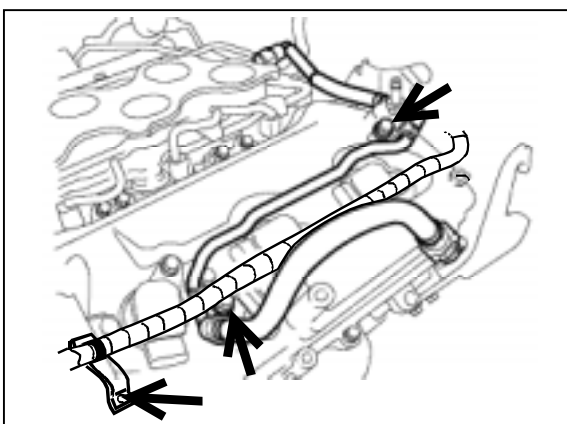


- 6) エンジンルーム ECU アウトレットダクトをエンジンルーム ECU ボックスから取りはずす



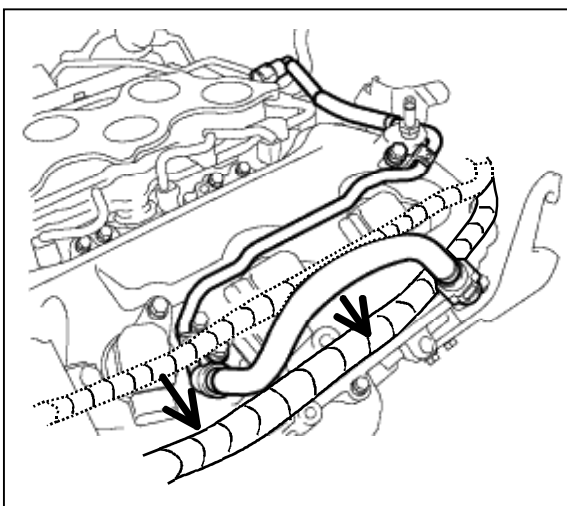
- 7) ラジエーターASSY をクーリングファン ASSY と一体で車両から取りはずす。

クーラーコンデンサーASSY とラジエーターASSY を干渉させない
クーラーコンデンサーが傷つかないように保護をする

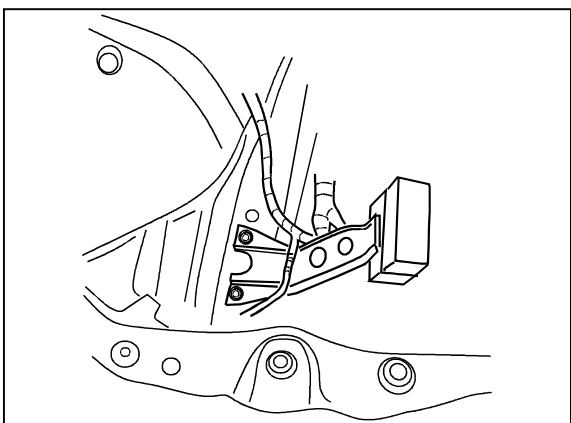


1.7 エンジンハーネス修正

- 1) フuelチューブのボルト2本をはずし、チューブとホースをはずす
- 2) ワイヤーハーネスのクランプをはずし、ブラケットから切り離す
- 3) ボルト1本をはずし、ワイヤーハーネスのブラケットをはずす(再使用しない。ボルトは使用する)

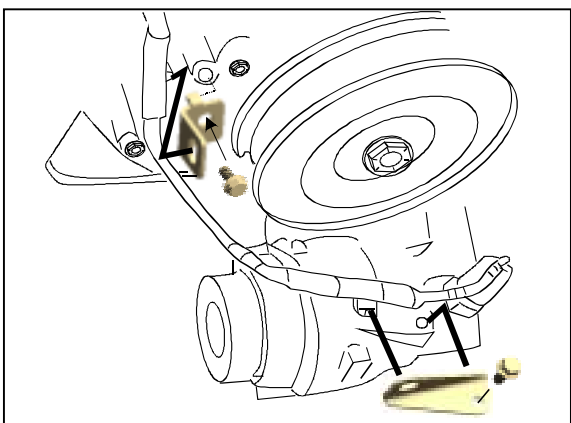


- 4) エンジンハーネスをエンジンのLH側に寄せ、fuelチューブとホースをつけ直す
ハーネスをホースの下側を通す
ホース取り付けボルト締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)
- 5) リテーナを両サイドから手でつまみ、fuelチューブコネクタをパイプに取り付ける
- 6) E F I fuelパイプクランプ No.1 を取り付ける



1 8 リレーブロックNo, 4はずし (GS350のみ)

- 1) エアクリーナーボックス下のリレーブロックNo, 4をブラケットからはずす
- 2) ブラケットをはずす (再使用しない)



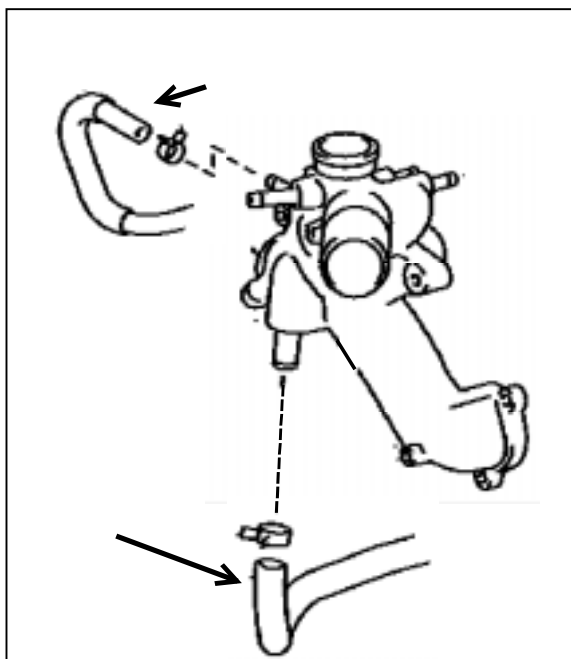
[2] コンプレッサーキット取付け

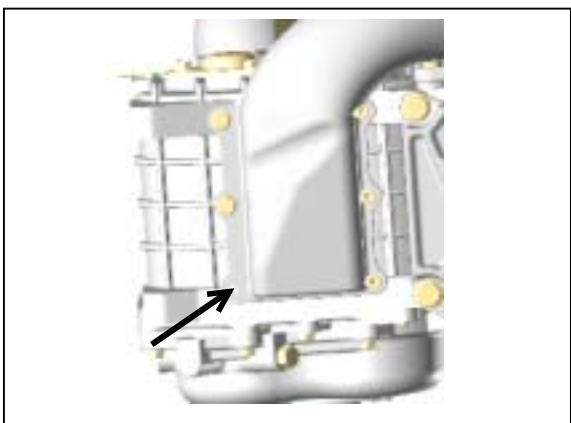
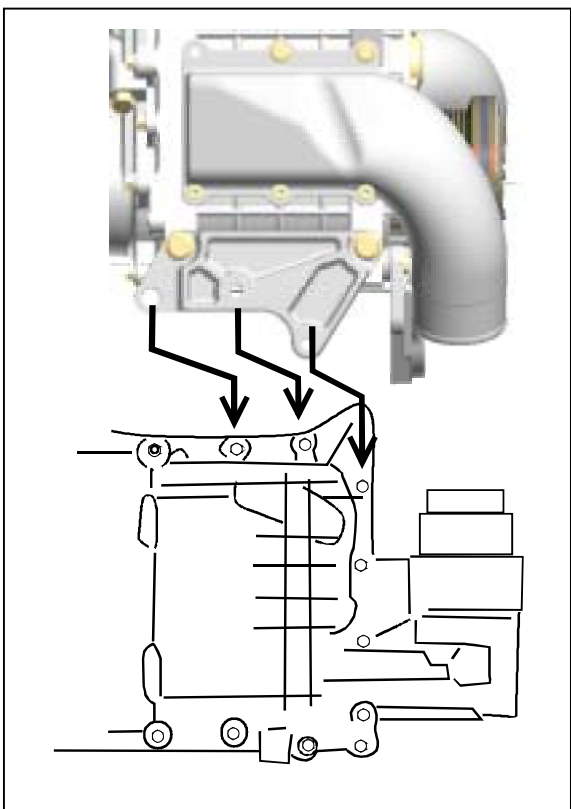
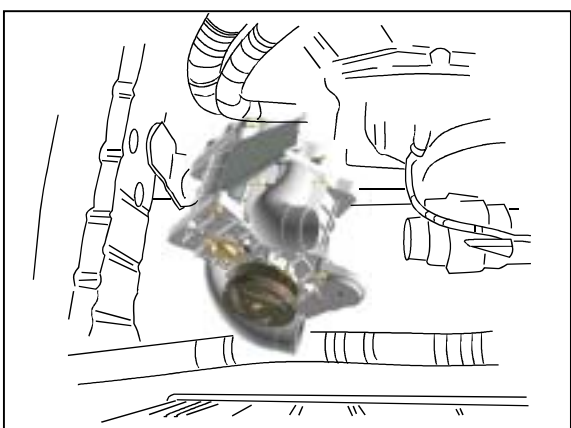
1 オイルプレッシャーセンサーハーネスブラケット交換

- 1) ボルトをはずし、ワイヤリングハーネスクランプブラケットを取りはずす (脱着部品図参照)
- 2) はずしたブラケットの場所に 88112 ハーネスブラケットNo, 1および 88113 ハーネスブラケットNo, 2を、純正ボルトを再使用して取り付ける
- 3) ハーネスをブラケットに取り付ける

2 ウォーターホース交換

- 1) エンジンカバーNo, 2をはずす (再使用しない)
- 2) 部を 20mmカットする。保護チューブははずらしてつける
- 3) ウォーターバイパスホースNo, 3をはずす
- 4) 16267 ウォーターバイパスホースNo, 3を取り付ける
バンドは再使用する





3 コンプレッサー取り付け

- 1) アッセンブリーになっているコンプレッサーのボルトが確実に締まっているか確認する

各ボルトの締め付けトルクは構成部品図参照

13615 アップースターのボルト・ナットはゆるめておく

- 2) オイルパン取り付けボルト 2 本と、ナット 1 個をはずす (はずす位置は左下図参照)

- 3) エンジンルーム下側からコンプレッサー A S S Y を持ち上げ、13617 ロアブラケット、コンプレッサーを BC835 ボルト× 2 本と、13619 S ナット、ロアブラケット、WPB25 ワッシャを使用してエンジンに取り付ける (構成部品図 1 参照)

締め付けトルク 構成部品図参照

クーラーコンデンサーを傷つけないように注意する

- 4) 上記 1 - 2) のアップーサポートを BF820 ボルト 2 本でエンジンブロックに取り付ける

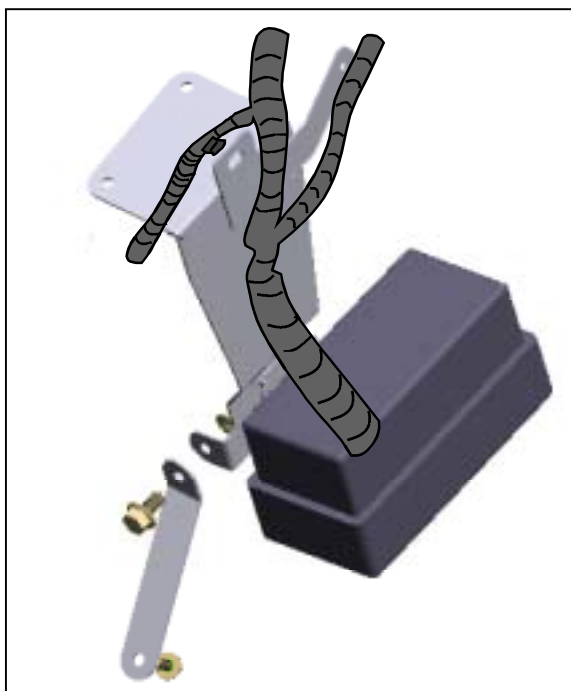
締め付けトルク 構成部品図参照

- 5) 17151 アウトレットポートの取り付けボルト BC620 キャップボルト 1 本をはずし、アース線を共締めする (左図矢印)

締め付けトルク 構成部品図参照

- 6) コンプレッサーのクラッチ用ハーネスのコネクターに、82217 マグネットクラッチハーネスのコネクターを取り付ける

ハーネスはエンジン上方に出しておく



4 リレーボックスNo. 4 取り付け (GS350のみ)

- 1) 前述 18-2)ではずしたブラケットの位置に88210 リレーボックスステーNo. 1を取り付ける

はずしたボルト2本を使用する

締付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)

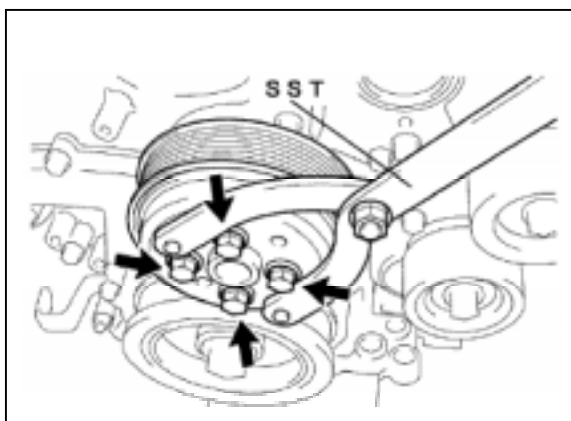
- 2) リレーボックスNo. 4を逆さまにしてステーに取り付ける
- 3) BF610 ボルトとNL601 ナットを使用して88211 リレーボックスステーNo. 2をステーNo. 1に取り付ける

締付けトルク 構成部品図参照

- 4) BF610 ボルトを使用してステーNo. 2をメンバーのネジ穴に取り付ける

締付けトルク 構成部品図参照

- 5) ハーネスのクランプをステーに取り付ける

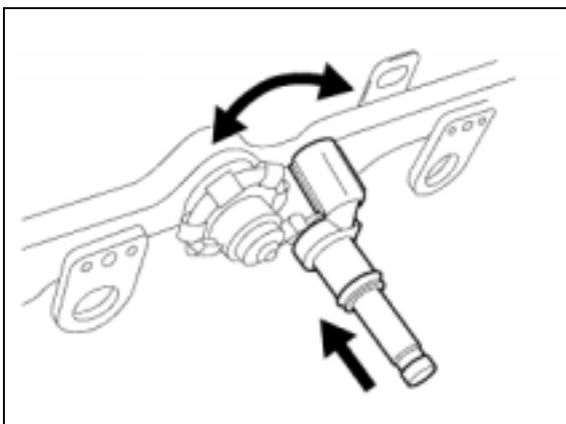
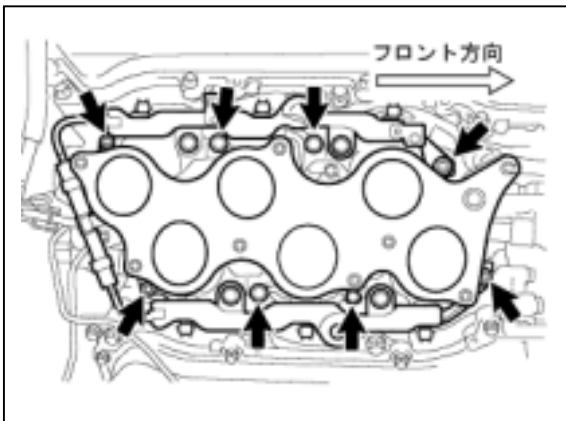
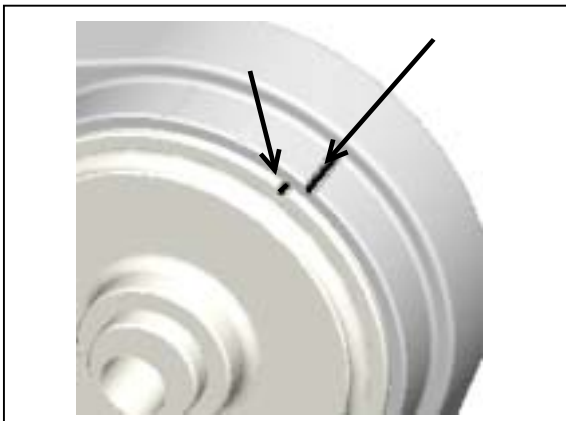
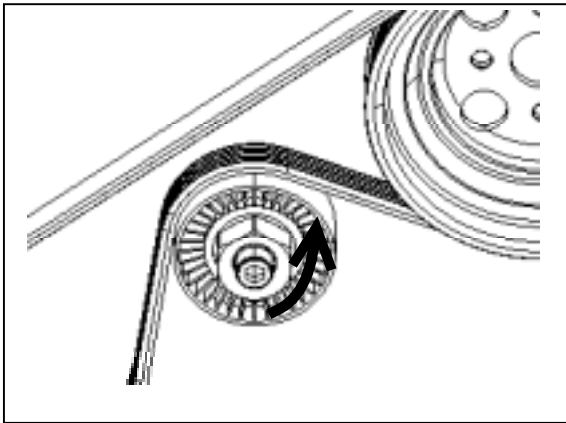


5 プーリー、ベルト取り付け

- 1) SST を使用して、ウォーターポンププーリーを固定する(SSTがない場合は純正ベルトを張ったままボルトをはずす)

SST09960-10010 (09962-01000,09963-00700)

- 2) ボルト4本をはずす(プーリーははずさない)



- 3) 13506 シャフトアイドルプリーの BC055 ボルトをゆるめる (はずさない)
- 4) 16361 ベルトをマグネットクラッチ、アイドルプリーにか、13504 ドライブプリーにかけた状態で、ドライブプリーを純正ウォーターポンププリーと一緒に取り付ける

ベルト溝が確実に入っているか確認する(入っていない場合ベルトが張りづらい場合がある)

- 5) BF820 ボルト 4 本と WP816 平ワッシャー 4 個で 13504 ドライブプリーをウォーターポンププリーと共締めする

締め付けトルク 構成部品図参照

- 6) 13506 シャフトアイドルプリーを回転させてベルトの張りを調整し、BC055 ボルトを締め付ける

六角部をモンキーレンチ (対角 32 mm) などで回しながら張りを調整し、キャップボルトを締める (反時計方向に回して張りを強める)

ベルト張り参考値 13501 ブラケットの合わせマークに 13505 シャフトベースのマークを合わせる (左図参照)

装着後の走行時に高回転域ですべるようであれば張りを強くする。ただし強く張りすぎると純正のベルトがアイドル等で滑る (キュッキュウ音が出る) 場合があるので調整する

締め付けトルク 構成部品図参照

16267 ウォーターホースとベルトが干渉しないこと (すきまが 10 mm 以上あること。ない場合はホースを回転させて調整する)

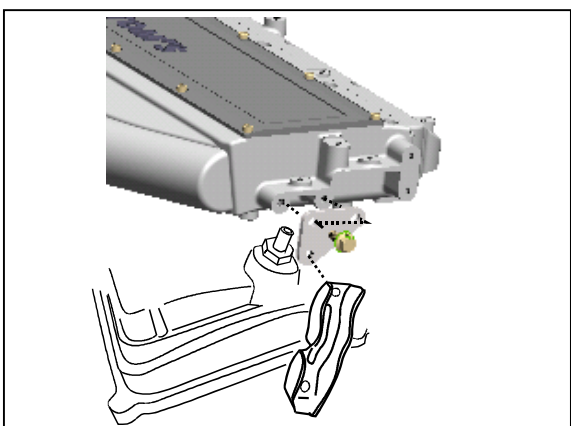
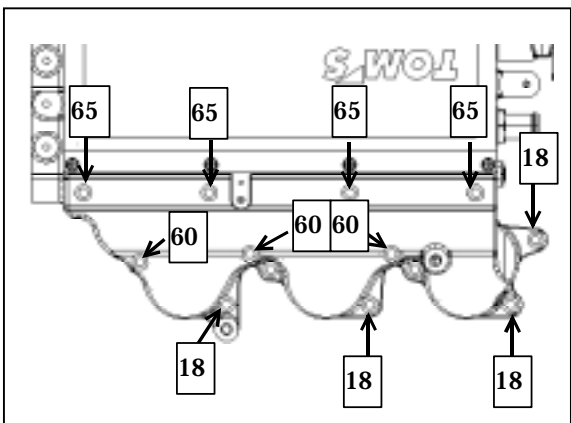
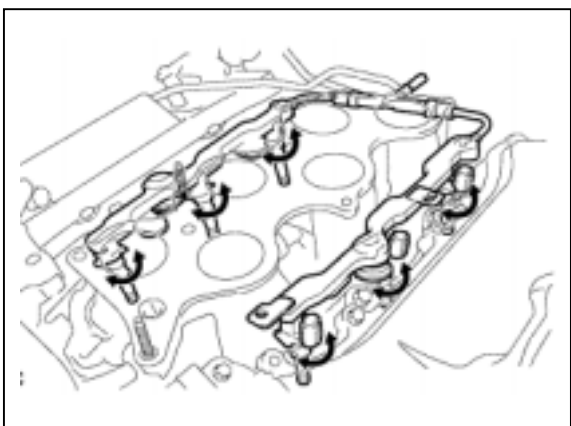
クラッチハーネスが干渉しないこと

- 6 インテークマニホールド取り付け
 - 1) インテークマニホールドツウヘッドガスケット (17177 - 31060X2) を交換する
 - 2) 純正ボルト 4 本およびナット 4 個を再使用して 17181 インテークマニホールドを取り付ける

締め付けトルク 脱着部品図参照

ボルト・ナットは均等に締め付ける

- 3) インジェクターが軽く回転するのを確認し、回転しない場合はインジェクターを取りはずし、再度 Oリングを新品に取り替えて作業を行う。
- 4) インジェクター先端の Oリングを交換する
Oリング(90301-11029)



- 5) デリバリパイプスペーサ 4 個をインテークマニホールドに取り付ける
- 6) インジェクターASSY をフューエルデリバリパイプに取り付けた状態で、インテークマニホールドへ取り付ける

Oリングがねじれないように十分注意すること

フューエルデリバリパイプに組み付け後、比較的軽く回転するのを確認し、回転しない場合は、インジェクターを取りはずし、再度Oリングを新品に取り替えて作業を行う

- 7) ボルト 4 本で、インジェクターASSY をフューエルデリバリパイプに取り付ける。

締付けトルク 17N.m(173Kgf.cm)

- 8) フューエルチューブコネクタの軸とパイプの軸を合わせて接続し、リテーナを“カチッ”と音がするまで押し込む

7 サージタンク取り付け

- 1) 17190 サージタンクの裏側に 17176 ガスケットを取り付ける

ラバーグリスなどを塗って逆さまにしてもはずれないようにする

- 2) サージタンクASSYをマニホールドに取り付ける(左図参照)

使用ボルト: BC660 ボルト×3

BC665 ボルト×4

BC618 ボルト×4

締付けトルク 構成部品図参照

ボルト・ナットは均等に締め付ける

ガスケットのはみ出しに十分注意する

- 3) 17222 ステー、サージタンクNo. 3を BF816 ボルト×2本と、前述[1]-14-8)ではずした純正ボルト1本で取り付ける

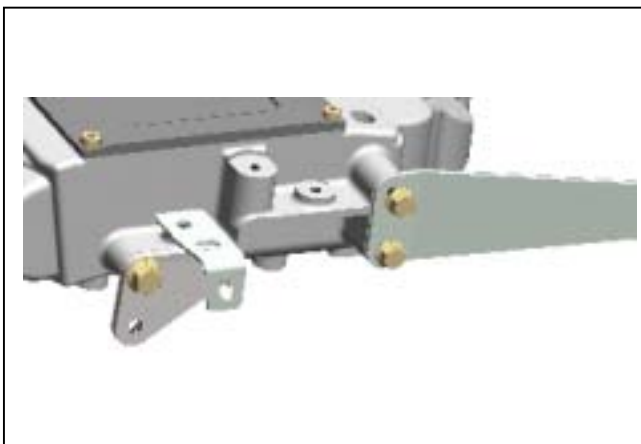
締付けトルク 構成部品図参照

- 4) 前述[1]-14-9)でゆるめたボルトを締め付ける

締付けトルク 21N.m(214Kgf.cm)



- 5) 17198 ステア、サージタンク No. 1 を BF815 ボルト× 1 本と前述〔 1 〕 - 1 7 3)ではずしたボルトを使用してヘッドカバー-LH に取り付ける
締付けトルク 構成部品図参照
ヘッドカバー側ボルト締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)



- 6) 17225 ヒーターパイプステーを BF615 ボルト× 2 本で取り付ける
締付けトルク 構成部品図参照
 7) ヒーターパイプをはずしたボルトで上記ステーに取り付ける(前述〔 1 〕 - 1 4 - 7) 参照)

締付けトルク 構成部品図参照

- 8) 11223 ハーネスブラケットを BF615 ボルトで取り付ける

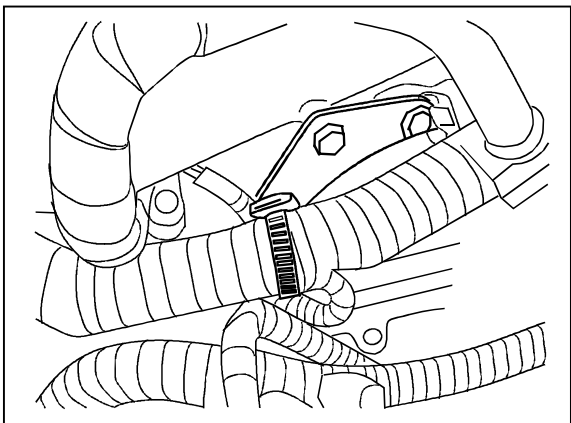
締付けトルク 構成部品図参照

- 9) 【 1 〕 - 1 4 5)ではずしたエンジンワイヤーハーネスのグロメットを上記 8)のステーに取り付ける

- 10) 88117 ブラケットをサージタンクに BF615 ボルト 2 本で取り付ける

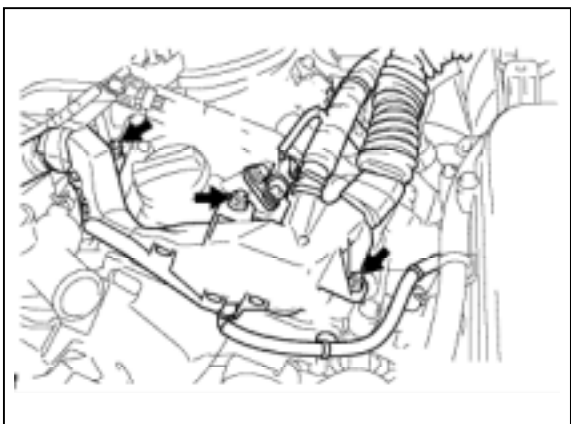
締付けトルク 構成部品図参照

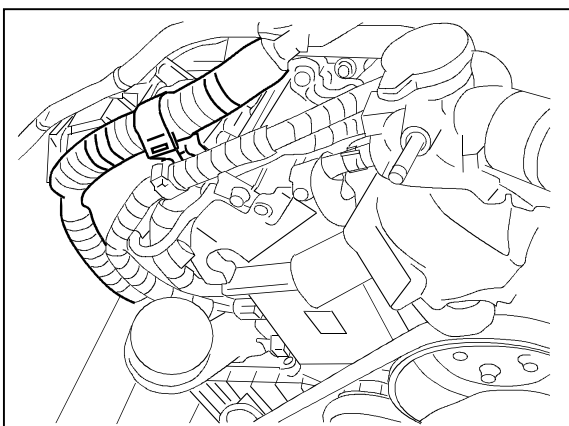
- 11) サージタンク横のエンジンハーネスのクランプバンド(前述〔 1 〕 - 1 7 - 2) 参照)を一度はずし、位置を調整して 88117 ブラケットに取り付ける



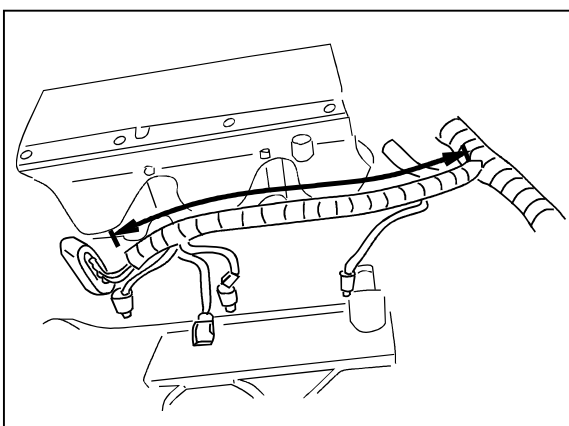
8 インレットパイプ取り付け

- 1) エンジンワイヤーハーネスの取り付けナット 3 個をはずす(左上図参照)





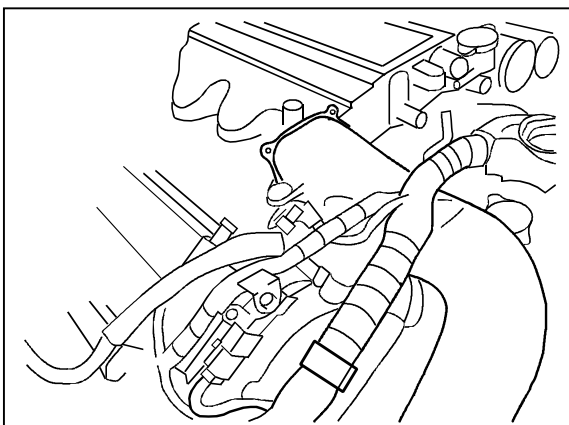
- 2) ハーネスのクランプをはずし、ブラケットをはずす（左図参照）
 ブラケットは再使用しない



- 3) テープをはがし、エンジンハーネスのうちスロットルセンサー/V S V /インジェクターのハーネスのコレクターチューブ（保護チューブ）をはずし、それぞれのハーネスを露出させる
 左図参照

- 4) スロットルポジションセンサーのハーネスと、キャニスターV S Vのハーネスをインジェクターハーネスから分離させる
 5) 分離させたハーネスにもとのコレクターチューブと 82110 コレクターチューブをカットしてまき直し、テーピングする

インジェクターハーネスが短い場合は、配線を少しずつ引っ張りながら長くする（強く引っ張らないように十分注意する）



- 6) 17131 インレットポートに 17124 ホースバンドと、17125 ジョイントホースを取り付ける（構成部品図 1 参照）
 必要であればラバーグリスを塗布する
 バンドはゆるめておく

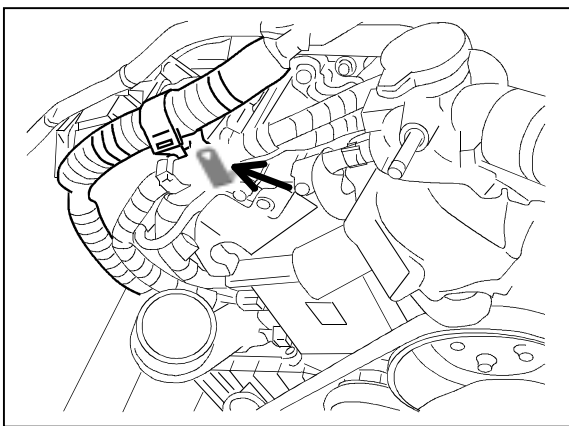
- 7) エンジンワイヤーハーネスを持ち上げ、17121 インレットパイプ No. 2 を通す

ワイヤーハーネスに無理な力をかけないこと

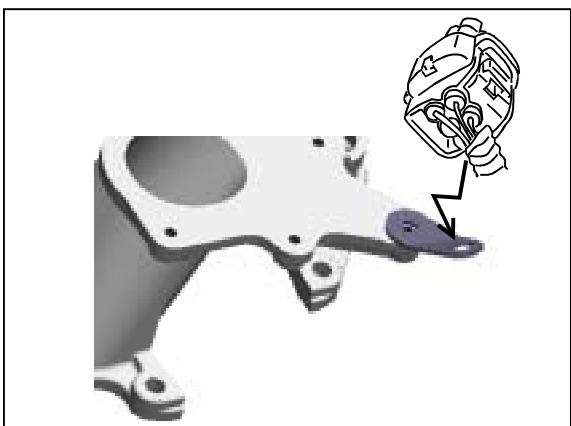
- 8) インレットパイプ No. 2 をジョイントホースに差し込む

バンドは締め付けない

- 9) 純正ハーネスの取り付けナットおよびクランプを取り付ける



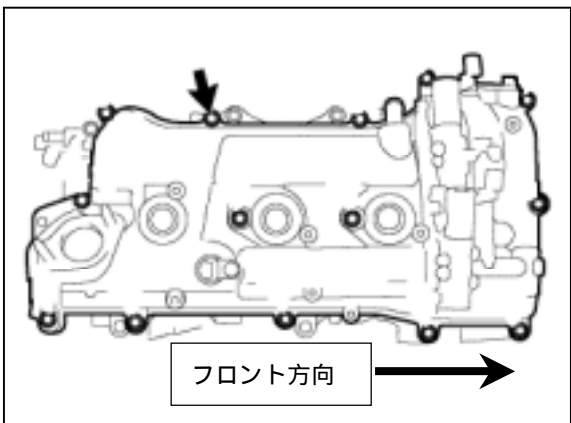
- 10) 88119 ハーネスブラケットをエンジンカバー取り付けボルトに共締めし、ハーネスクランプをブラケットに取り付ける



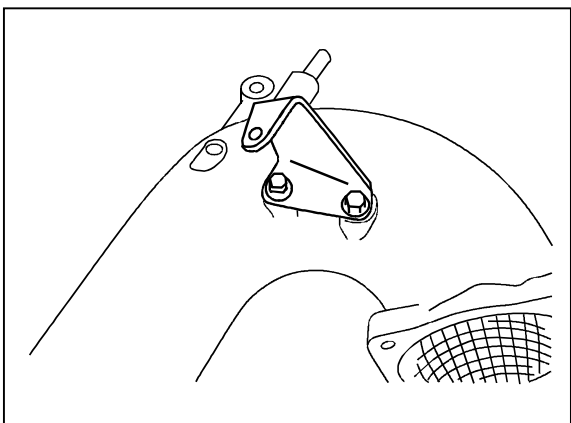
- 11) 17181 インテークマニホールドの一番前側のネジ穴に、88116 ハーネスブラケットを BC612 ボルトで取り付ける

締付けトルク 構成部品図参照

- 12) 前述〔1〕- 14 - 5)ではずした LH インジェクターハーネスツウエンジンハーネスのコネクターを 88116 ブラケットに取り付ける

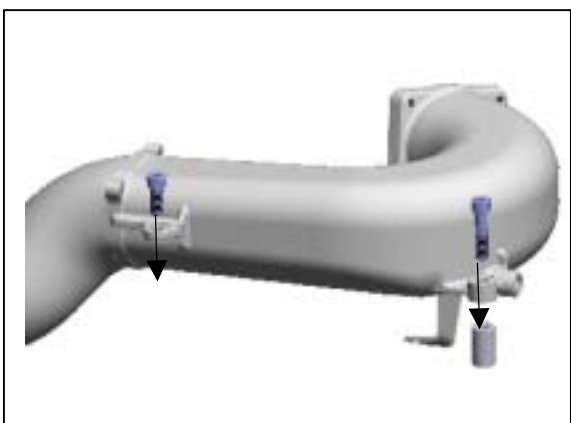


- 13) 左図の位置の R Hエンジンヘッドカバーボルトをはずす



- 14) BF612 ボルト 2 本で 17110 インレットパイプ No. 1 に 17115 ステーを取り付ける

締付けトルク 構成部品図参照



- 15) 17156 Oリング、インレットパイプをインレットパイプ No. 2 に取り付け、BC515 ボルト× 3 本でインレットパイプ No. 1 に取り付ける

締付けトルク 構成部品図参照

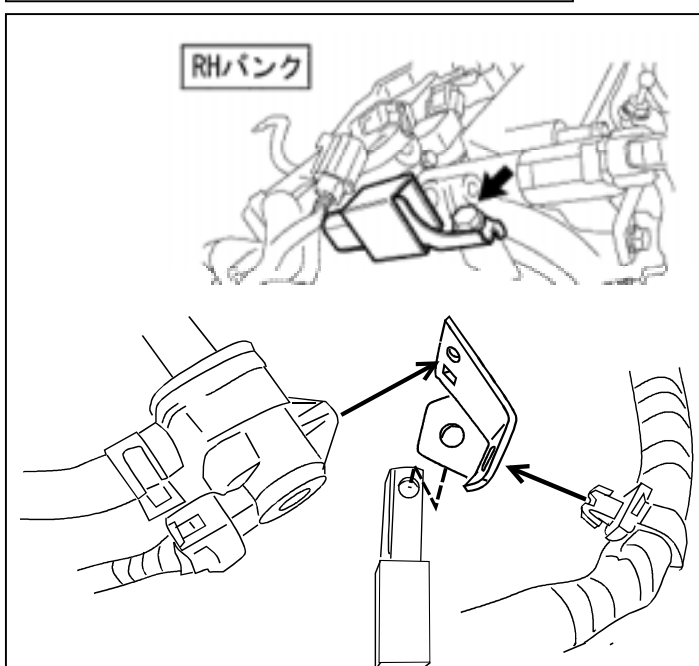
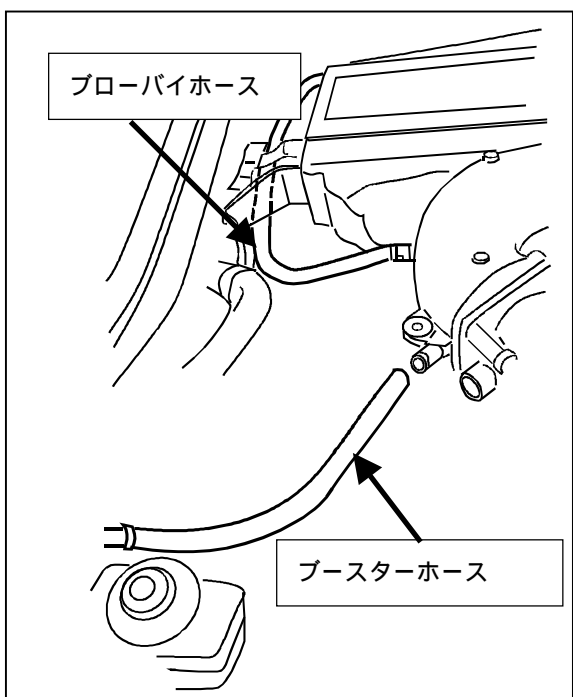
- 16) 17110 インレットパイプ No. 1 を BC855 ボルトと 17116 カラー、および BC820 ボルトでサージタンクに取り付ける

締付けトルク 構成部品図参照

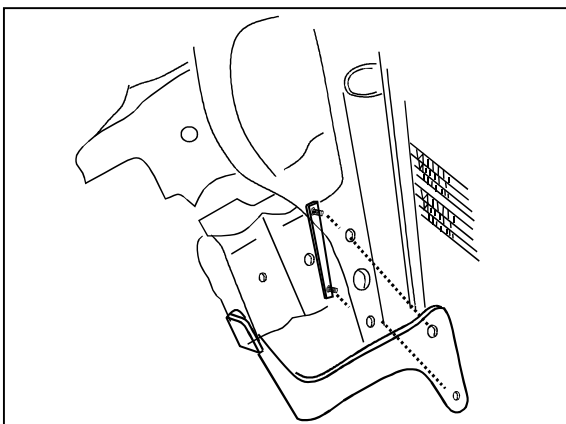
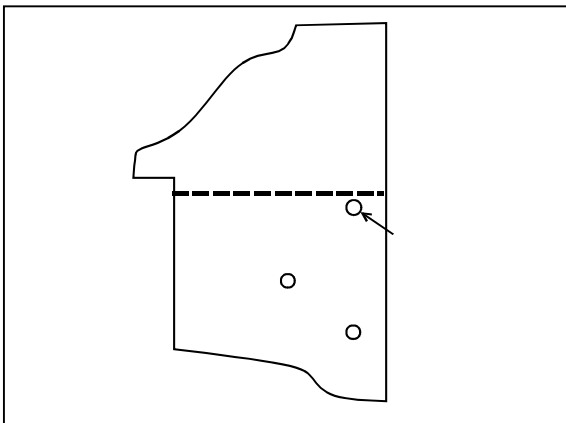
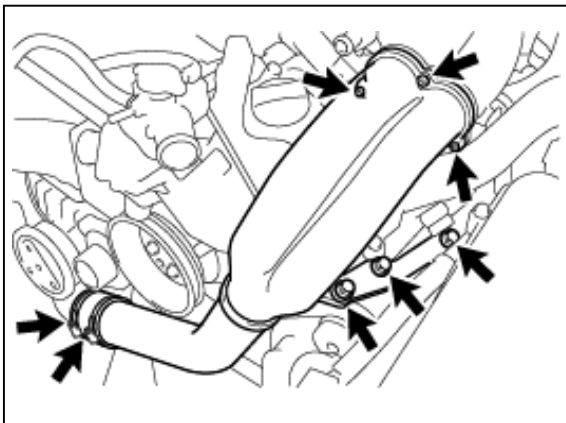
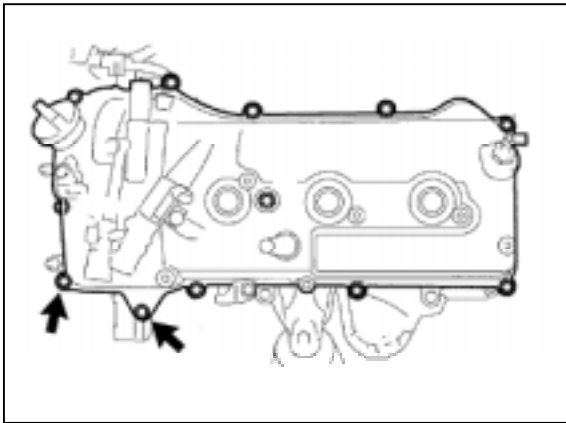
- 17) 17115 インレットパイプ No. 1 ステーをシリンダーヘッドカバー取り付けボルトで取り付ける

ヘッドカバーボルト締付けトルク 21N.m(214Kgf.cm)

- 18) 17124 バンドを本締めする



- 19) スロットルボディを 17110 インレットパイプ No. 1 に純正ガスケットを介して取り付ける
 ボルトは純正を再使用する
 ガスケットは新品を使用する
締付けトルク 10N.m(102Kgf.cm)
スロットルポジションセンサーとヘッドカバーとのクリアランスが2mm程度あること
- 20) 17128 ウォーターバイパスホースに 9011A メッシュプロテクター-350mm を取り付ける
 メッシュの端面を広げてホースに通し、メッシュをふくらませながらホースに入れていく
- 21) ウォーターバイパスホース No. 1 (後ろ側) を 17128 ホースと交換して取り付ける。
 バンドは純正を再使用する
- 22) ウォーターバイパスホース No. 2 を取り付ける
- 23) 9011B メッシュプロテクター-560mm を 18129 ホース、ブローパイプに取り付ける
- 24) ブローパイプを取り付ける
 バンドは純正を再使用する
 ホースは左図のようにとり回す。長い場合は適当な長さにカットする
ステアなどの干渉部分にプロテクターを取り付ける
- 25) 44773 ブレーキブースターホースを取り付ける
 バンドは純正を再使用する
他のホースや、エンジン、車両と干渉のないこと
- 26) 前述〔1〕-14-2)ではずした、V S V をステアからはずす
 - 27) 88115 ステア、パキュームスイッチに V S V を取り付け(スクリュー再使用)、左図のボルトをはずしてシリンダーヘッドカバーに共締めする(コンデンサーと共締め)
- 28) ホースを V S V とインレットパイプに取り付ける
- 29) キャニスターのホースを取り付ける
- 30) エンジンワイヤーハーネスのクランプをステアに取り付ける



9 アウトレットパイプ取り付け

- 1) シリンダーヘッドカバーボルト 2本をはずす(左図参照)
- 2) 17151 アウトレットポートに 17155 ジョイントホース、アウトレットと 17154 ホースバンドアウトレットパイプを取り付ける(構成部品図参照)
バンドは締め付けない
- 3) サージタンクに 17164 Oリング、アウトレットパイプ 2個を取り付ける(構成部品図 2 参照)
- 4) 17160 アウトレットパイプをジョイントホースに差し込み、サージタンク側を BC618 ボルト×3本で取り付ける(構成部品図 2 参照)

締め付けトルク 構成部品図参照

82217 マグネットクラッチハーネスをパイプの下側に通しておく

エンジンハーネスをはさみこまないよう注意する

- 5) バンドを締め付ける
バンドのスクリューがオイルフィルターキャップをはずす際に干渉しない位置にする
- 6) 17165 ステア、アウトレットパイプを BF815 ボルトとシリンダーヘッドカバーボルトを使用し取り付ける

締め付けトルク 構成部品図参照

ヘッドカバーボルト締め付けトルク 21N.m(214KgfcM)

10 純正ラジエター、クーリングファン取り付け

- 1) はずしたラジエター、クーリングファン、ラジエターサポート U P R、フードロック A S S Y、エンジンルーム ECU アウトレットダクトを取り付ける

組み付けは脱着部品図参照のこと

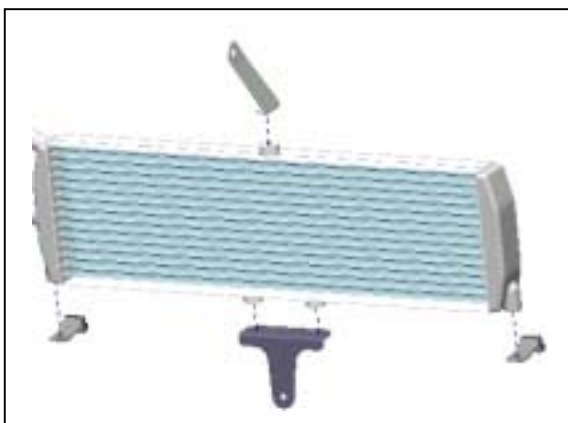
締め付けトルクは脱着部品図を参照のこと

クーラーコンデンサーを傷つけないよう注意する

11 インタークーラー用ラジエター取り付け

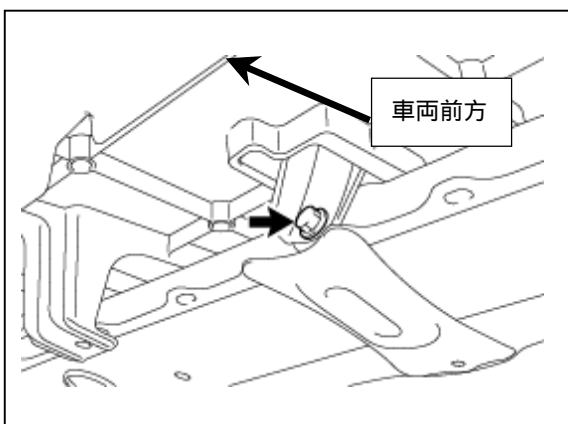
- 1) はずしたラジエターグリルエアガード RH の一部をカットする(左図参照)
上側の穴の上端部から 5mm の位置から真横にカットする
- 2) はずしたラジエターグリルエアガード RH の取り付け穴 2 個所に車両外側から 17973 ウォーターポンプステア No. 2 を差し込む
車両下側のすきまから入れるとよい
- 3) カットしたグリルエアガードと 17971 ステア No. 1 を取り付ける(左図および構成部品図 3 参照)

エアガードのクリップ 2 個を取り付ける



- 4) 17960 ラジエターに 17977 ロアブラケット、ラジエターを BF612 ボルト× 2 本で取り付ける
- 5) 17978 ロアステー No. , 2 × 2 個を BF612 ボルト× 2 本で取り付ける

締め付けトルクは構成部品図を参照のこと

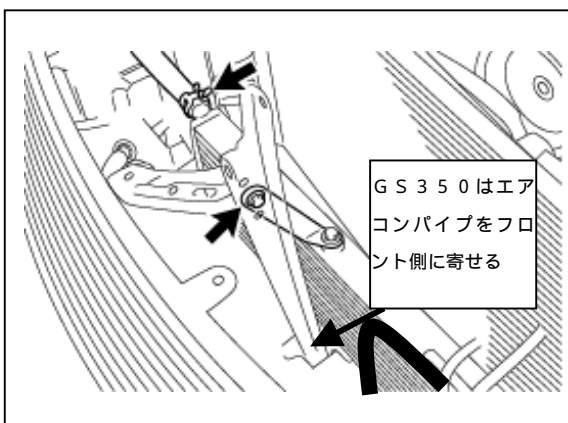


- 6) ラジエターをフードロックブレースの前側に差し込み 17977 ステーをブレース取り付けボルト (左図参照) で共締めする、

17977 ブラケットをクーラーコンデンサーの下側に引っかけるように取り付ける

締め付けトルク 8N.m(82Kgf.cm)

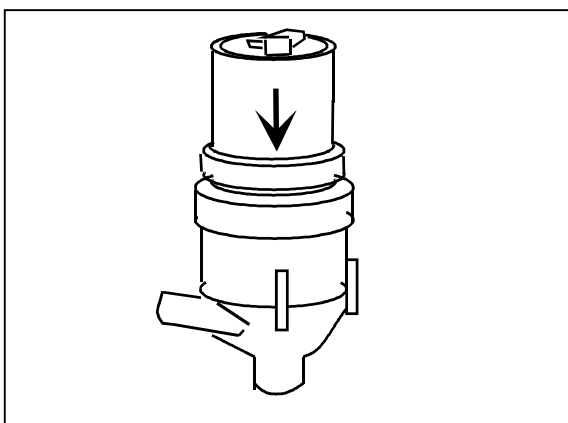
GS350 はエアコンパイプの干渉する部分を手前に曲げる(パイプに傷が付かないように十分注意してゆっくり曲げる)



- 7) 17976 アッパーブラケット、ラジエターを BF612 ボルトでラジエターに取り付け、フードロックブレースに BF615 ボルトと NL601 ナットで取り付ける (構成部品図 3 参照)

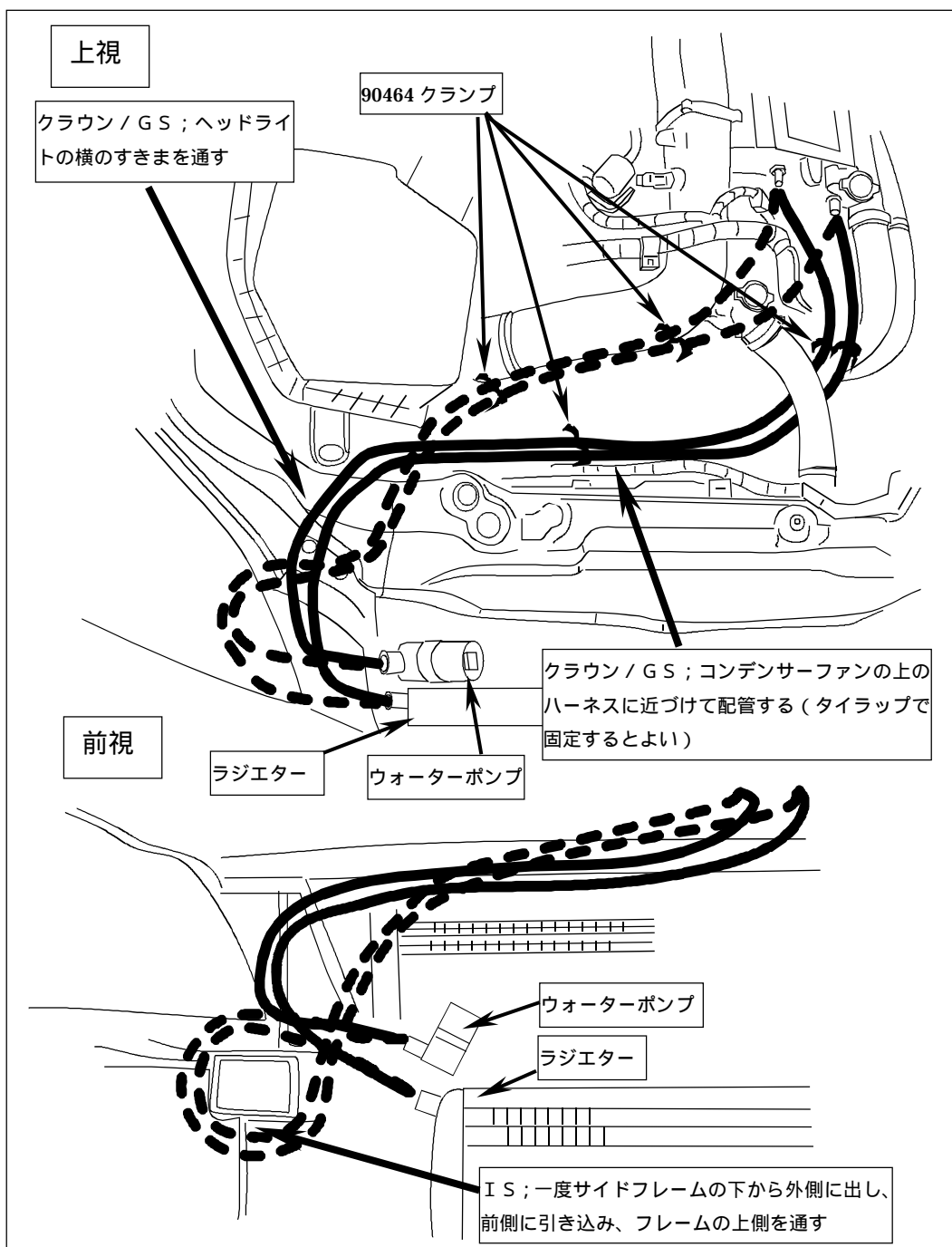
締め付けトルクは構成部品図を参照のこと

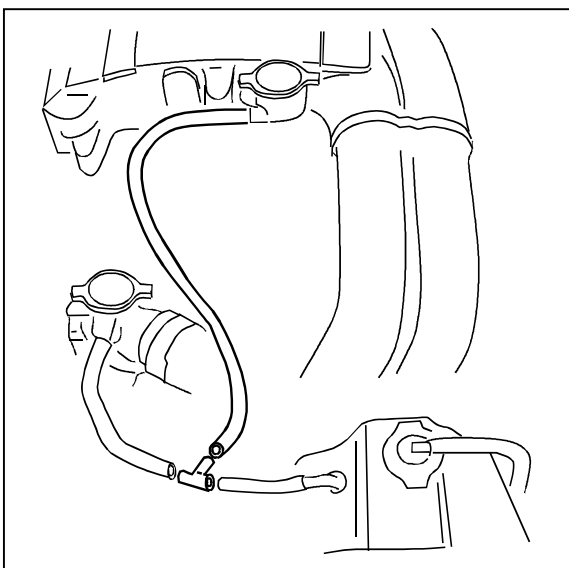
- 8) 17986 ポンプ to ラジエターホースを 90467 バンドでラジエターに取り付ける



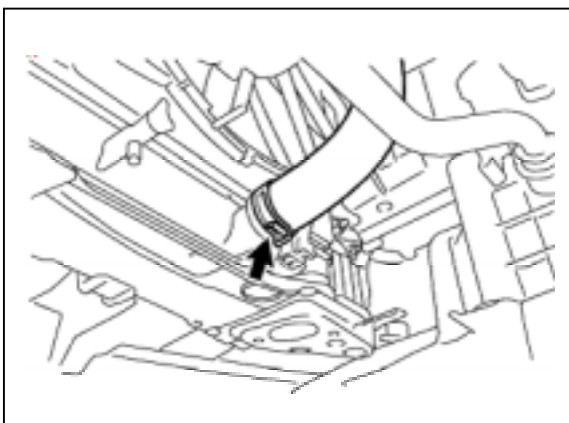
- 9) 16290 ウォーターポンプのゴムを移動する (左図)
- 10) ウォーターポンプに 17986 ホースと 90467 バンドを取り付ける (構成部品図 3 参照)
- 11) 17975 ウォーターポンプクランプバンドでウォーターポンプをステー No. , 1 に取り付ける
BF620 ボルトを使用する (構成部品図 3 参照)

- 12) 17982 インタークーラーホースに 9011C メッシュプロテクターを取り付ける
メッシュの端面を広げてホースに通し、メッシュをふくらませながらホースに入れていく
- 13) 17982 インタークーラーホース No. 1 を下図のように取り回す
実線；クラウン 3.5L / GS 350 点線；IS 350
IS 350 はエアクリーナーケース横から一度クロスメンバーの下を通し外側に出し、前側に回して立ち上げ、フレームの上を通して配管する。
必要に応じてホースをカットする場合はエアクリーナーケースなどを仮付けして寸法を出す
- 14) 90467 バンド 4 個をホースの両端に入れ、ホースを配管する
17950 ウォーターヘッダータンク × ラジエーター上側
17945 ニップルサージタンク No. 2 × ウォーターポンプ
ウォーターポンプ側のバンドは締め付けない (クーラントのエア抜きをおこなった後に締める)
- 15) ホースに 90464 クランプ 2 個を取り付ける
ラジエーターファンのガードなど突起のある部分とは接触しないように避けて配管する

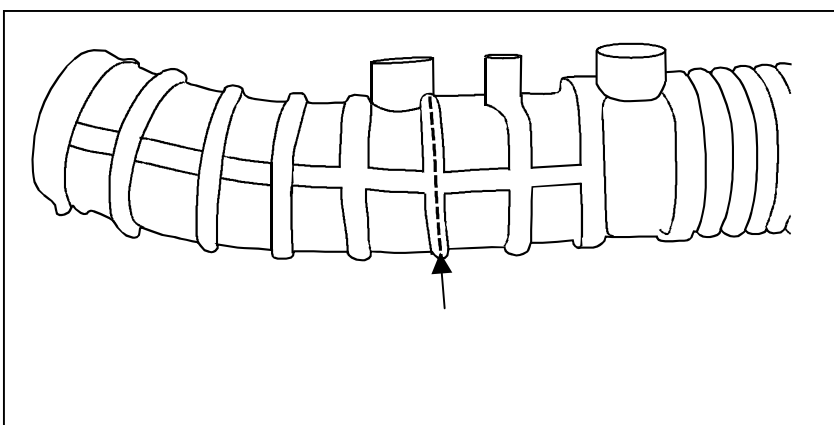




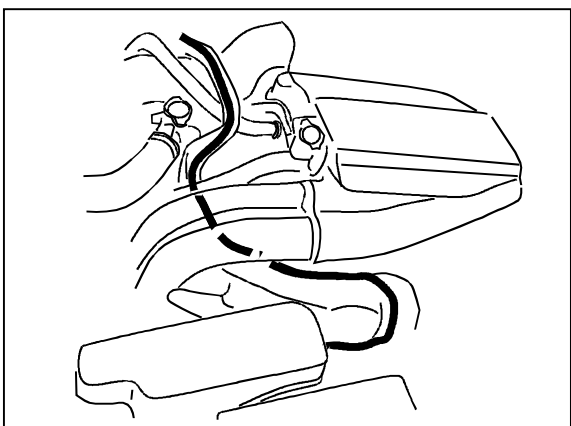
- 16) 純正のリザーブタンクホースを途中でカットし、スリーウエイを取り付ける
ホースに 90467 バンドを取り付ける
- 17) 17950 ウォーターヘッダータンクに 17955 リザーブタンクホースと 90467 バンドを取り付ける
- 18) リザーブタンクホースの反対側に 17956 スリーウエイを取り付ける
ホースに 90467 バンドを取り付ける
ホースは必要に応じて適当な長さにカットする



- 1 2 ラジエターロアホース取り付け
 - 1) 16571 ラジエターロアホースを取り付ける
バンドは純正を再使用する
IS350はホースのラジエター取り付け側を45mmカットする
- 1 3 ラジエターアッパーホース（インレットホース）取り付け
 - 1) 純正のアッパーホース（インレットホース）を、バンドを再使用して取り付ける
- 1 4 エアクリーナーホースNo.1加工取り付け
 - 1) はずした純正のエアクリーナーホースNo.1を図の位置でカットする



- 山の頂上でカットし、バンドの抜け止めにする**
車両にあてがってカット位置を確認する
- 2) ホースを純正のバンドを再使用してエアクリーナーキャップに取り付ける



15 ドライバーユニット・マグネットクラッチ ハーネス取り付け

- 1) コンプレッサー本体から出ているコネクタに82217 マグネットクラッチハーネスを取り付け、エンジンECUボックスまで配線する（左図参照）

配線の取り回しは引っ張らないようにし、必要に応じて固定する

コネクタはロックを確実に取り付ける

- 2) ECUボックスのハーネスにそわせてクラッチハーネスをボックス内に引き込む
防水シールのわきに押し込む
- 3) ターミナルの赤線を青色コネクタの以下の位置に差し込む

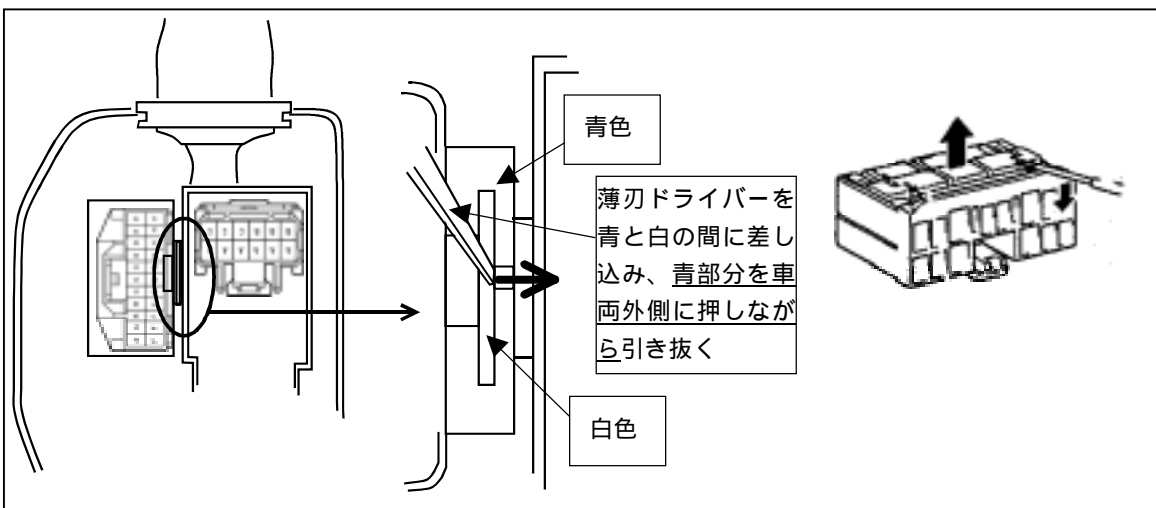
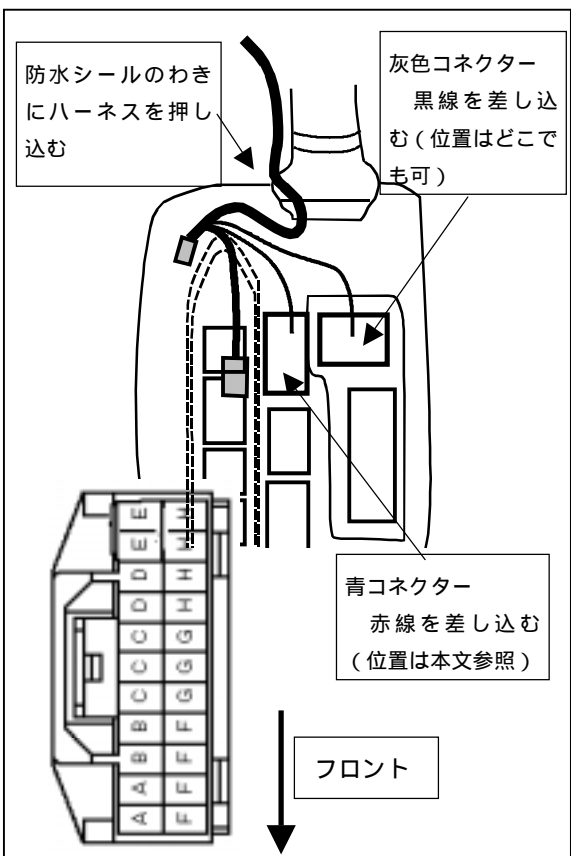
左図コネクタ図中

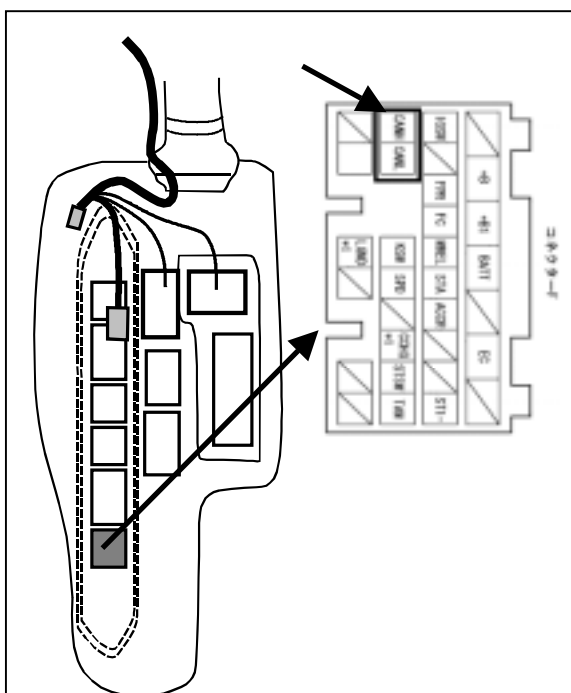
クラウン 3.5 L ; 【A】の裏側
IS 350 ; 【G】の空いている
個所
GS 350 ; 【C】の空いている
個所

コネクタ図は装着しているところを上側から見た図で、アルファベットの同じものはジャンクションで結線されている（裏側のコネクタも同じ=ただし位置は逆になる）

- 4) ターミナルの黒線を灰色コネクタに差し込む
コネクタの空いている個所のどこでもよい
ターミナルの差し込み方法は以下の通り（下図参照）

コネクタをブロックからはずす（下図の個所に薄刃ドライバーを差し込み、ロックをはずす）
コネクタ同士をはずす
コネクタのロックをはずす
ターミナルを差し込む
コネクタのロック、接続はウォーターポンプハーネスの接続後におこなう

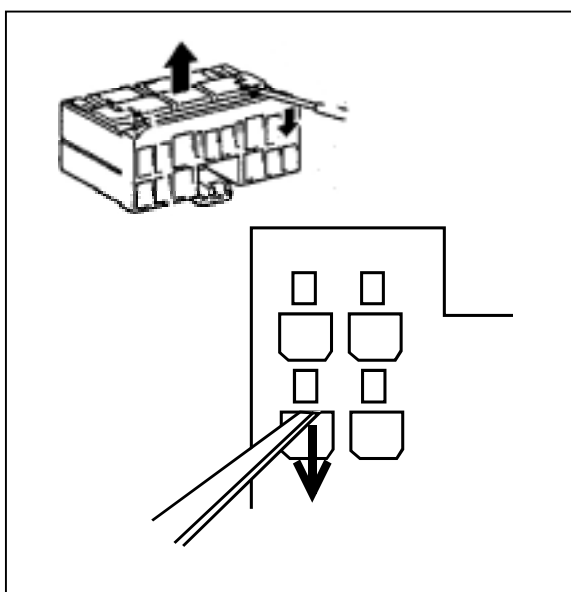




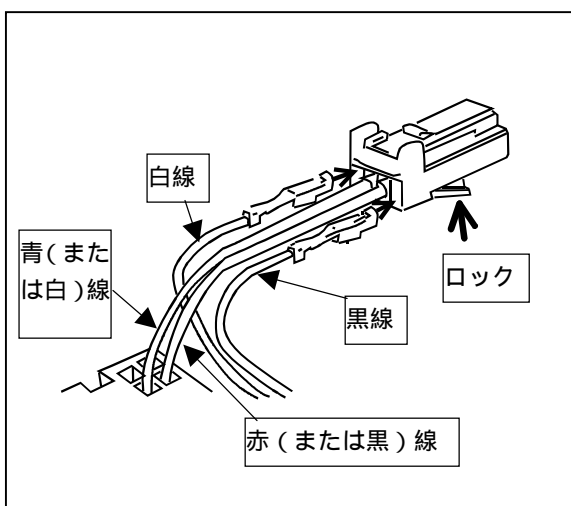
- 5) エンジン ECU コネクターの一番前側のコネクタから左図のターミナル 2 本をはずす (CANH : 黒色、CANL : 白色)

コネクタ図は装着されている状態で車両上側から見た図

ターミナルのはずし方は以下の通り (左下図参照)



コネクタのロックを引き上げる
左図の位置に極薄刃ドライバーなどを差し込み、ランスを下に押し下げながらターミナルを引き抜く



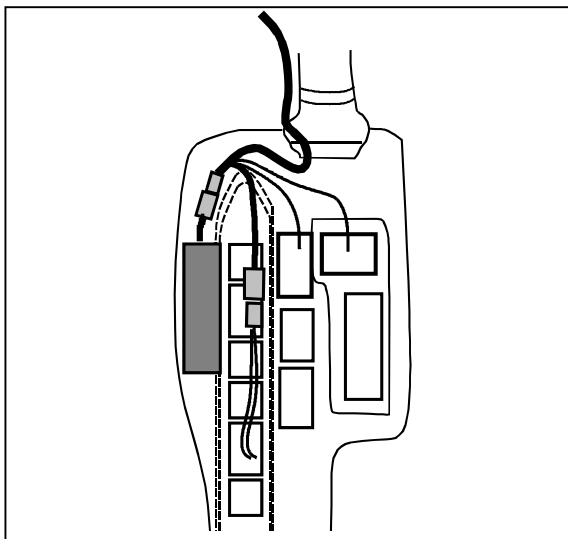
- 6) はずしたターミナルをアダプターハーネスのコネクタに差し込み、コネクタのロックをする
車両側の黒線 赤 (または黒) 線のとなり、車両側の白線 青 (または白) 線のとなり

ロックは確実にする

- 7) 赤 (または黒) 線を CANH (黒線の位置 = 車両後方側)、青 (または白) 線を CANL (白線の位置 = 車両前方側) に差し込み、コネクタのロックをする

ロックは確実にする

- 8) 82217 マグネットクラッチハーネスとコネクタを結線する



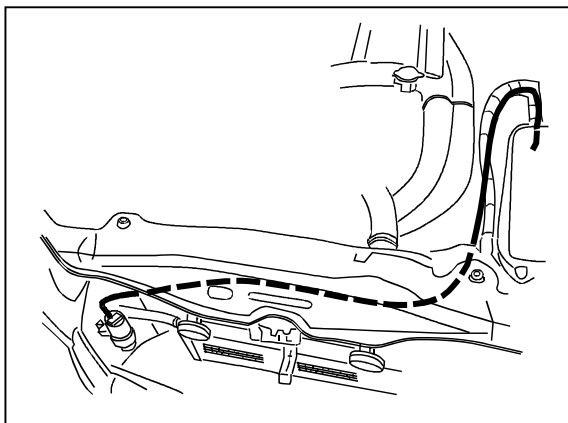
- 9) エンジン ECU を取り付ける

コネクタを確実に差し込むこと

- 10) 82300 マルチドライバーユニットのコネクタとマグネットクラッチハーネスを結線し、ユニットを ECU ボックス内に入れる

ユニットは固定しない

ハーネスやコネクタに無理な力がかからないようにする



1 6 ウォーターポンプハーネス取り付け

- 1) 82216 ウォーターポンプハーネスを取り付ける (左図参照)

- 2) ECU ボックスに入るハーネスの保護チューブをカットし、ハーネスを差し込む

できる限り小さくカットする

- 3) ターミナルを図の位置に差し込む

赤リード線を青コネクタの以下の位置に取り付ける

クラウン 3.5 L ; 【E】の裏側
I S 3 5 0 ; 【G】の空いている
個所

G S 3 5 0 ; 【F】の空いている
個所

黒リード線を灰色コネクタの図の位置に取り付ける (空いているターミナル)

- 4) 青色コネクタのロックをする
5) 青色コネクタ同士を接続する
6) カットした保護チューブの個所に防水テープなどを巻く

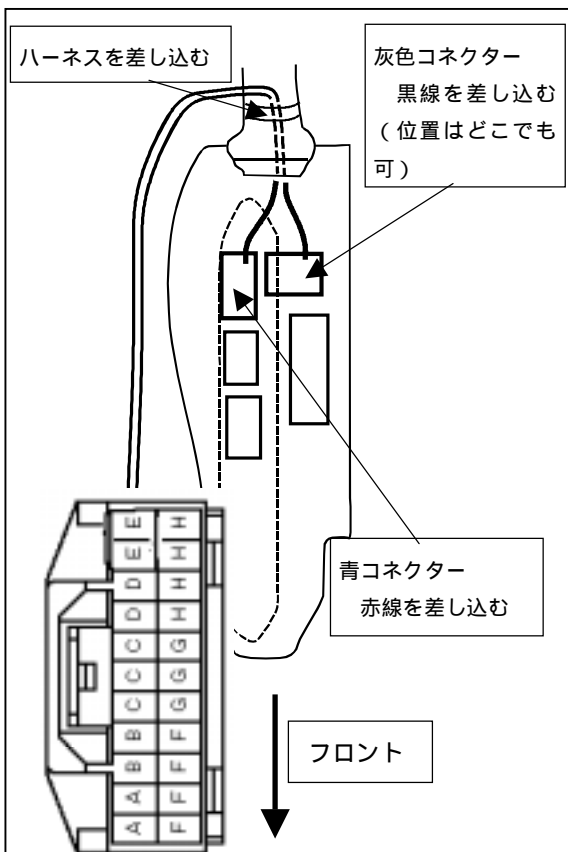
- 7) エンジンルーム ECU カバーを取り付ける (脱着部品図 1 参照)

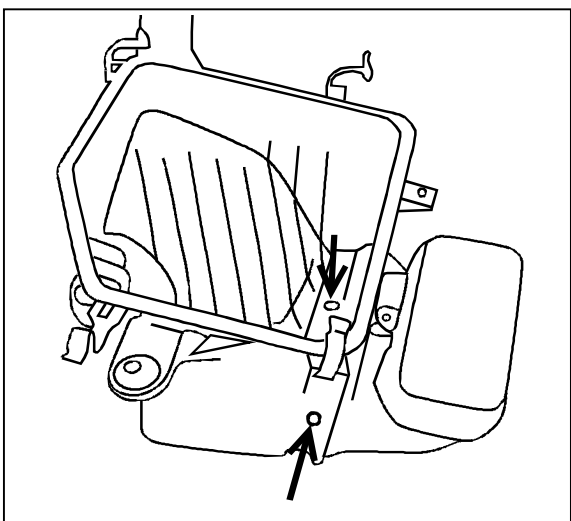
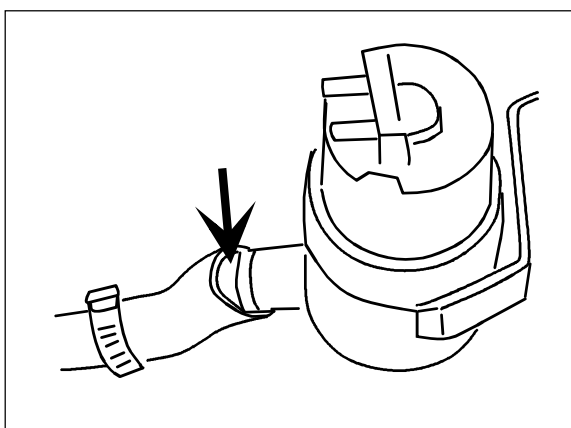
1 7 冷却水注入

- 1) エンジン冷却水を入れ、エア抜きをする

1 8 インタークーラーウォーター注入

- 1) ヘッダータンクから冷却水 (L L C 5 0 %) を入れる





- 2) ウォーターポンプ側のアウトレットホースの上側を少しはずしてエアを抜きホースを戻す

冷却水が出てきてエアがない状態まで冷却水を流す

この位置にエアが残るとポンプの「カラ打ち」が発生し、ポンプが異音の発生やヒートしたり水が回らない場合があるため十分エアを抜く

- 3) イグニッションをONにして、ウォーターポンプが回転していることを確認する

音および感触で確認する

ヘッダータンクの泡が完全になくなるまでエア抜きをする

タンクの冷却水が動いていることを確認する

- 4) ヘッダータンクいっぱいまで補充する

キャップテスターを使用して冷却水の漏れを点検する(満水にした状態で 137kPa(1 . 4 Kg/cm²) の圧力をかける)

1 9 エアクリーナーボックス取り付け

- 1) クラウン / GS 3 5 0 は純正のインテークエアクリーナー No . 2 のリベットをはずしてエアクリーナーケースからはずし、17851 インテークエアクリーナー No . 2 を付属のスクリューとワッシャー、ナットを使用して取り付ける
- 2) 純正ボルトを使用して、エアクリーナーボックスを取り付ける

締付けトルク 脱着部品図参照

インタークーラーホース2本がつぶれないように注意する

- 3) エアクリーナーキャップとインテークエアホースを取り付ける
- 4) エアフローメーターコネクター、ブローパイホースを取り付ける (脱着部品図 1 参照)
- 5) 純正ボルトを再使用して 17751 インテークエアクリーナーを取り付ける
IS 3 5 0 は 17850 インテークエアクリーナー No . 1 を取り付ける
GS 3 5 0 はインテークエアクリーナー裏側のレゾネーターをはずす (穴の空いた状態で取り付ける)

2 0 純正部品取り付け (脱着部品図参照)

- 1) フロントスタビライザーブラケットを取り付ける
- 2) エンジンアンダーカバー、アンダーカバーリヤを取り付ける

2 1 燃料コーションラベル貼り付け

- 1) 燃料コーションラベルをフーエルフィルターオープングリッド (給油口リッド裏面) に貼り付ける
レギュラーガソリンを入れた場合はエンジンが破損する可能性が高いため、必ず貼り付けること

2 2 各部確認

- 1) エンジンを始動して、アイドルリングし、ベルトの干渉などがいないか確認する
特にエンジン始動時や、レーシング時にベルトの干渉がないか確認する
- 2) アイドルリングが安定しない場合は、エンジン E C U の学習値が安定するまで、アイドル放置および走行する
コンプレッサーの過給は走行時の音 (約 2 0 0 0 r p m ぐらいからキーン音) で確認する
軽いレーシングで過給はしない
冷間時は過給しない (エンジン水温 3 0 ° 以上で過給する))
走行後ガソリン、冷却水の漏れ等を点検する

TOM'S

【発売元】株式会社 トムス
Ver, 1.5 2007/04/10 発行